クイック スタート ガイド

日本語

Prinergy Direct

バージョン 2.2

731-00056A-JA-A

www.creo.com

Prinergy Direct

バージョン 2.2

クイック スタート ガイド

著作権

Copyright © 2003 Creo Inc. All rights reserved.

Creo の書面による明示的な許可なくして、本マニュアルのすべてまたは一部を複製、頒布、出版、変更、または組み込むことはできません。本マニュアルの複製、頒布、出版、変更、または組み込みが許可されている場合は、著者帰属、商標凡例、または著作権表示を変更または削除することはできません。

Creo, Inc. の書面による明示的な許可なくして、電子的、機械的、複写、記録、またはその他のいかなる形式や方法でも、本ドキュメントのすべてまたは一部を複製、検索システムに格納、出版、商取引の開発を目的とした使用、または伝送することはできません。

本マニュアルは、Adobe Systems Incorporated の PDF (Portable Document Format) 形式によっても頒布されています。お客様は、社内使用を目的として PDF ファイルから本マニュアルを複製することができます。PDF ファイルからコピーを作成する場合は、マニュアル全体を複製する必要があります。

商標

Creo 文字商標、Creo ロゴ、および本マニュアルで参照されている Creo の製品とサービスの名前は、Creo, Inc. の商標です。

Adobe、Acrobat、および Acrobat ロゴは Adobe Systems, Inc. の登録商標で、米国特許商標局で登録されており、他の法域で登録されている場合もあります。

Apple、AppleTalk、AppleShare、EtherTalk、LocalTalk、Macintosh、および LaserWriter は、Apple Computer, Inc. の商標です。

Microsoft、Microsoft Windows、Microsoft Windows 2000、および Windows NT は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

Xerox は、Xerox Corporation の登録商標です。

その他の銘柄または製品名は、各所有者の商標または登録商標です。

FCC 準拠

本マニュアルで参照されている Creo 装置は、クラス A コンピューティング デバイスに対する FCC 規定のパート 15 の必要条件に準拠しています。住宅地域における Creo 装置の運用によってラジオまたはテレビの受信に有害な干渉が引き起こされる可能性があり、そのような場合は、お客様がご自分で干渉を除去する必要があります。

責任の制限

製品、ソフトウェア、またはサービスは、「現状有姿」および「利用可能な状態」で提供されています。お客様の契約書に明白に記述されている場合を除いては、Creo, Inc. は、商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を明示であると黙示であるとを問わず、一切負うものではありません。

Creo Inc. は以下から生じた直接的、非直接的、付随的、特殊的、間接的、または懲罰的な損害 (損害にはこれらすべてを含みますが、それだけに限りません)、利益の損失、業務上の信用、使用、データ、または無形資産の損失については一切責任を負わないことに、お客様は理解して同意されたものとします。(i) 製品またはソフトウェアの使用またはその能力の欠如、(ii) 購入された製品、商品、データ、ソフトウェア、情報、またはサービスから生じた代用の商品およびサービスの調達価格、(iii) 製品、ソフトウェア、またはデータの許諾されていないアクセスまたは変更、(iv) 第三者の声明または行為、(v) 製品、ソフトウェア、またサービスに関連するその他のいかなる事項。

本マニュアルのテキストおよび図は、説明および参照を目的として提供されています。これらが基づいている仕様は変更される可能性があります。本マニュアルの内容は、予告なしに変更されることがあります。Creo, Inc. または Creo, Inc. の子会社は、本マニュアルにおける技術上または編集上の誤りまたは脱漏の責任は一切負いません。また、付随的、間接的、非直接的、または特殊的な損害 (本マニュアルの使用から生じた使用喪失、データの損失または変更、遅延、あるいは利益または貯蓄の損失を含みますが、それだけに限りません) についても一切責任を負いません。

特許

本製品は、以下の米国特許のうちの 1 つまたは複数を対象としています。

RE37,376	5,325,217	5,532,728	5,742,743	5,996,499	6,158,345	6,353,216
4,558,302	5,339,176	5,561,691	5,764,374	5,998,067	6,159,659	6,366,339
4,743,091	5,343,059	5,568,595	5,764,381	6,003,442	6,164,637	6,371,026
4,992,864	5,355,446	5,576,754	5,771,794	6,014,471	6,180,325	6,377,739
5,049,901	5,359,451	5,579,115	5,785,309	6,016,752	6,181,362	6,387,597
5,079,721	5,359,458	5,592,309	5,813,346	6,031,932	6,181,439	6,396,422
5,103,407	5,367,360	5,594,556	5,818,498	6,043,865	6,186,068	6,396,618
5,111,308	5,384,648	5,600,448	5,854,883	6,060,208	6,189,452	6,407,849
5,113,249	5,384,899	5,608,822	5,861,904	6,063,528	6,191,882	6,414,755
5,122,871	5,412,491	5,615,282	5,861,992	6,063,546	6,204,874	6,422,801
5,124,547	5,412,737	5,625,766	5,875,288	6,072,518	6,208,369	6,435,091
5,132,723	5,420,702	5,636,330	5,894,342	6,090,529	6,214,276	6,441,914
5,150,225	5,420,722	5,649,220	5,900,981	6,096,461	6,217,965	6,450,092
5,153,769	5,459,505	5,650,076	5,934,196	6,098,544	6,260,482	6,456,396
5,155,782	5,473,733	5,652,804	5,942,137	6,107,011	6,266,080	6,476,931
5,157,516	5,481,379	5,680,129	5,946,426	6,112,663	6,266,134	6,477,955
5,208,818	5,488,906	5,691,823	5,947,028	6,115,056	6,267,054	6,509,903
5,208,888	5,497,252	5,691,828	5,958,647	6,121,996	6,268,948	6,541,181
5,247,174	5,508,828	5,696,393	5,966,504	6,130,702	6,283,589	6,545,772
5,249,067	5,509,561	5,699,174	5,969,872	6,134,393	6,295,076	6,564,018
5,283,140	5,517,359	5,699,740	5,973,801	6,136,509	6,299,572	
5,291,273	5,519,852	5,708,736	5,986,819	6,137,580	6,318,266	
5,323,248	5,526,143	5,713,287	5,995,475	6,147,789	6,352,816	

Creo, Inc.
3700 Gilmore Way
Burnaby, B.C., Canada
V5G 4M1
電話: 1-604-451-2700
Fax: 1-604-437-9891
http://www.creo.com

731-00056A-JA-A
最終更新日: 2003 年 7 月

目次

このマニュアルについて ix

ようこそ ... x
さらに詳しく習得するには ... x
PDF ドキュメント ... x
その他の情報 ... x

1 Prinergy Direct の紹介 1

Prinergy Direct について ... 2
このバージョンの最新機能 ... 2
Prinergy 製品群 ... 2
使用できるジョブ データ形式 ... 3
クライアント - サーバー システム アーキテクチャ ... 5
サーバー ... 6
クライアント ... 6
Prinergy Direct の要素 ... 7
[グループ] ... 7
ジョブ ... 8
プリ-ジョブ ... 8
プロセス プラン ... 8
ワークフロー プラン ... 8
ホット フォルダ ... 8
Prinergy Workshop の使用方法 ... 9
Prinergy Workshop の起動 ... 10
Prinergy Workshop 初期設定の設定 ... 11
Prinergy Direct ワークフロー概要 ... 12

2 ワークフローの設定 13

ワークフローの設定 ... 14
Workshop ウィンドウのカスタマイズ ... 16
グループの作成 ... 17
ジョブおよびプリ-ジョブの作成 ... 17
ジョブを開く ... 18
プロセス プランおよびワークフロー プランの設定 ... 19
プロセス プラン エディタの使用 ... 20
プロセス プラン ... 21
ワークフロー プラン ... 21
プロセス プランの作成 ... 22
インポート プロセス プラン ... 22
リファイン プロセス プラン ... 23
面付けプルーフ出力プロセス プラン ... 28
最終出力プロセス プラン ... 34

アーカイブ プロセス プラン (オプション) 35
パージ プロセス プラン (オプション) 36
取得プロセス プラン (オプション) 36
ワークフロー プランの作成 37
ユーザー ツールバーおよびジョブ ツールバーの設定 38
画像検索パスの追加 39
フォント検索パスの追加 39
ホット フォルダの管理 40

3 ジョブの実行: 基本的な手順 43

Prinergy Direct でのジョブの実行 44
ジョブ データの追加 46
ジョブの処理とホットフォルダ 47
ジョブ データのインポート 47
ジョブ データのリファイン 48
プルーフの作成 49
プルーフの承認 50
版の作成 50
ジョブの監視 51
アクティブなプロセスのチェック 52
プロセス情報のチェック 55
ジョブ履歴のチェック 56
システム履歴のチェック 56
Job Queue のチェック 57
Prinergy Direct システムでのファイルの管理 58
ジョブの破棄 58
グループの破棄 58
面付けの破棄 58
面付けの削除 59
ジョブのアーカイブ 59
ジョブのパージ 59
ジョブの読み込み 59
メディアの管理 60

4 ジョブの実行: 追加手順 61

追加の Workshop 手順 62
OPI 63
色版の管理 64
例: 4 色プルーフ デバイスにスポット カラーをシミュレートする 65
例: 個別にスポット カラー分版を出力 65
例: スポット カラーをプロセスに変換 66
例: 2 つのスポット カラーを 1 つのカラー分版に出力する 68
例: 色版の出力を抑止する 69
カラー データベースの使用 71
PANTONE カラー ライブラリ 73

共通の色版の識別 74
フォント コンバータの使用 75

用語集 77

索引 85

このマニュアルについて

ようこそ x
さらに詳しく習得するには x
PDF ドキュメント x
その他の情報 x

ようこそ

『Prinergy Direct クイック スタート ガイド』は Prinergy Direct® を紹介し、Prinergy Connect システムを使えるようデザインされています。

さらに詳しく習得するには

『Prinergy Direct クイック スタート ガイド』は、Prinergy Direct の基本概要を説明しますが、詳細な情報については、Prinergy Workshop オンライン ヘルプを参照してください。

オンライン ヘルプにアクセスするには

- ダイアログ ボックス、またはウィンドウのコンテキスト依存ヘルプ アイコン  をクリックし、ダイアログ ボックスまたはウィンドウの情報を表示します。
- Prinergy Window の [ヘルプ] メニューからオプションを選択します。

『Prinergy システム管理ガイド』は Prinergy® システムの概要を提供し、システム設定とバックアップの方法を説明します。

PDF ドキュメント

Prinergy マニュアルのすべての PDF ファイルは Prinergy マニュアル CD にあります。『Prinergy Direct クイック スタート ガイド』の PDF は、Prinergy Workshop の [ヘルプ] メニューからも参照できます。

PDF ドキュメントは、Adobe® Acrobat® Reader を使用してオンライン表示したり、印刷することが可能です。マニュアルを印刷する際は、著作権および免責条項を含めたマニュアル全体を印刷してください。

その他の情報

マニュアル、トレーニング コース、ダウンロード、およびサービスとサポートの連絡先については、www.creo.com を参照してください。

1 Prinergy Direct の紹介

Prinergy Direct について 2

Prinergy 製品群 2

使用できるジョブ データ形式 3

クライアント - サーバー システム アーキテクチャ 5

Prinergy Direct の要素 7

Prinergy Workshop の使用方法 9

Prinergy Workshop の起動 10

Prinergy Workshop 初期設定の設定 11

Prinergy Direct ワークフロー概要 12

Prinergy Direct について

Prinergy Direct は、プルーフ/出力デバイスの範囲まで面付けされた入力と出力が可能な、初心者レベルの Prinergy システムです。

Prinergy Direct は、Prinergy Connect または Prinergy Powerpack のいずれかを使用する複数サイトの Prinergy 顧客に、リモート刷版に関するソリューションを提供します。Prinergy Direct は、すでに面付けソリューションを持つプリンタへの経済的な Prinergy ソリューションでもあります。

このバージョンの最新機能

このバージョンの Prinergy Workshop ソフトウェアには、以下のように多くの改良点と新しい機能があります。



新機能の詳細については、Prinergy Workshop オンライン ヘルプを参照してください。

Prinergy 製品群

Prinergy 製品群には、以下のプライマリ製品があります。

- Prinergy Connect® — ページの処理、面付け、およびフィルムまたは版作成が必要な商業/出版用プリンタに対するフル装備の Prinergy システム。
- Prinergy Powerpack™ — オフセット印刷/フレキソ印刷/グラビア印刷用パッケージ プリンタに対応したフル装備の Prinergy システム。
- Prinergy Direct — プルーフ/出力デバイスの範囲まで面付けされた入力と出力が可能な、初心者レベルの Prinergy システム。
- Prinergy Publish — ページ準備ステーションとして構成された Prinergy システム。Prinergy Publish は入力ファイルを、別の Prinergy システムのようなダウンストリーム製版ワークフローで使用される制作準備の形式に変換します。
- Prinergy Newsrun — 新聞印刷用に設計された Prinergy システム Prinergy Newsrun では、Prinergy システムに新聞ごとに固有な面付けおよび印刷プランを追加できます。

使用できるジョブ データ形式

入力

ジョブ データを以下の形式で Prinergy Direct に送信することができます。すべてのジョブ データは、フラットやポスターのように、一度に画像化された全体面である必要があります。

- PDF ファイル
- PostScript® レベル 1、2、および 3 フラット
- EPS (Encapsulated PostScript)
- DCS (デスクトップ カラー セパレーション) および DCS2 (シングルファイル バージョンとマルチファイル バージョンの両方)
- Prinergy Connect または Prinergy Powerpack システムからエクスポートされた圧縮ファイル
- TIFF/IT-P1 (CEPS JTP のライセンスが付与された場合)

  Prinergy Direct に TIFF/IT フラットを追加する前に、TIFF/IT フラットのトラップおよびカラー マッチングが行われていることを確認してください。

リファイン プロセス プランの [CEPS コンバージョン] セクションは、Prinergy での TIFF/IT-PI 入力ファイルの処理方法を定義します。CEPS JTP を使用して TIFF/IT を PDF 形式に変換できます。また、CEPSLink または別のサード パーティー製品を使用して、TIFF/IT ファイルを EPS または DCS 形式に変換することもできます。

コンポジット ファイルの利用を推奨しますが、QuarkXPress® または Adobe PageMaker® で作成されたファイルなど、分版されたファイルも利用できます。ただし、分版された入力ファイルに設定された色版は、Prinergy では修正できません。カラー マッチングが必要な場合は、コンポジット入力ファイルを使用する必要があります。同じ Prinergy のジョブで、コンポジット ファイルおよび分版されたファイルを混合することはできません。

出力

Prinergy では、以下のタイプの出力ファイルがサポートされています。

- ラスタ DCS 2 (スクリーン済みまたは CT)
- ラスタ EPS (スクリーン済みまたは CT)
- Virtual Proofing System
- TIFF (スクリーン済みまたは CT)
- Scitex CT (contone)
- HPRTL (スクリーン済みまたは CT)
- Epson® 5000 (スクリーン済み)
- Epson 9000 (スクリーン済み)
- Kodak Approval™ TIFF (スクリーン済み)
- Kodak Approval EPS (スクリーン済み)
- JPEG (CT)
- BMP (スクリーン済み)

クライアント - サーバー システム アーキテクチャ

標準 Prinergy Direct システムには、クライアントとサーバーの 2 つのコンピュータがあります。ジョブの処理を実行するために、サーバーとクライアントが共に動作します。このシステムにより、処理能力が増強され、さらに効率的になります。

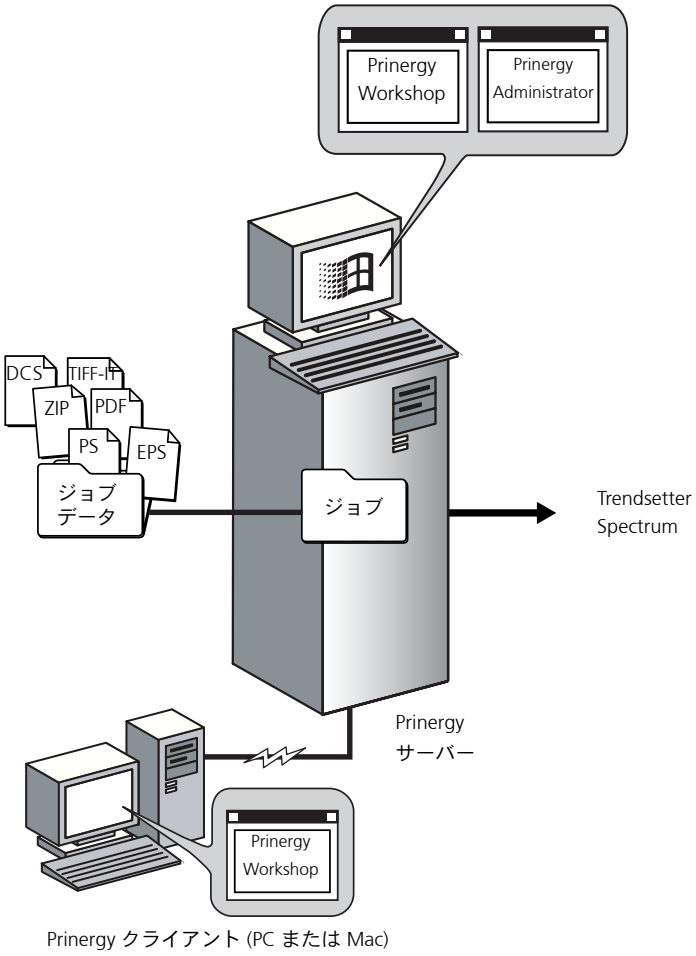


図 1: 標準 Prinergy Direct システム

サーバー

Prinergy プライマリ サーバーは、Windows 2000 を実行しているパーソナル コンピュータで、Prinergy Workshop からの要求を処理し、プライマリ ジョブ情報を保存する Oracle® データベースを管理します。

クライアント

クライアントは、OS 9.2 または OS 10.1.3 以降を搭載している Macintosh、あるいは Windows 2000 を搭載しているパーソナル コンピュータかのいずれかで、Creo の条件を満たすマシンです。クライアント マシンは、Prinergy Direct のメイン ユーザー インターフェイスである Prinergy Workshop です。作成、編集、およびジョブの監視を含むジョブの処理は、Prinergy Workshop で行われます。

Prinergy Direct にはクライアントが 1 台搭載されていますが、必要に応じてクライアントの追加が可能です。

Prinergy Direct の要素

このセクションでは、Prinergy Direct で操作する以下の要素を説明します。

- グループ
- ジョブ
- プリ-ジョブ
- プロセス プラン
- ワークフロー プラン
- ホット フォルダ

[グループ]

Prinergy ジョブおよびプリ-ジョブを整理するためにグループを使用します。

たとえば、Magazine X という月刊雑誌のグループを作成します。Magazine X グループでは、2003 年 9 月、2003 年 10 月など、各号のジョブを作成できます。

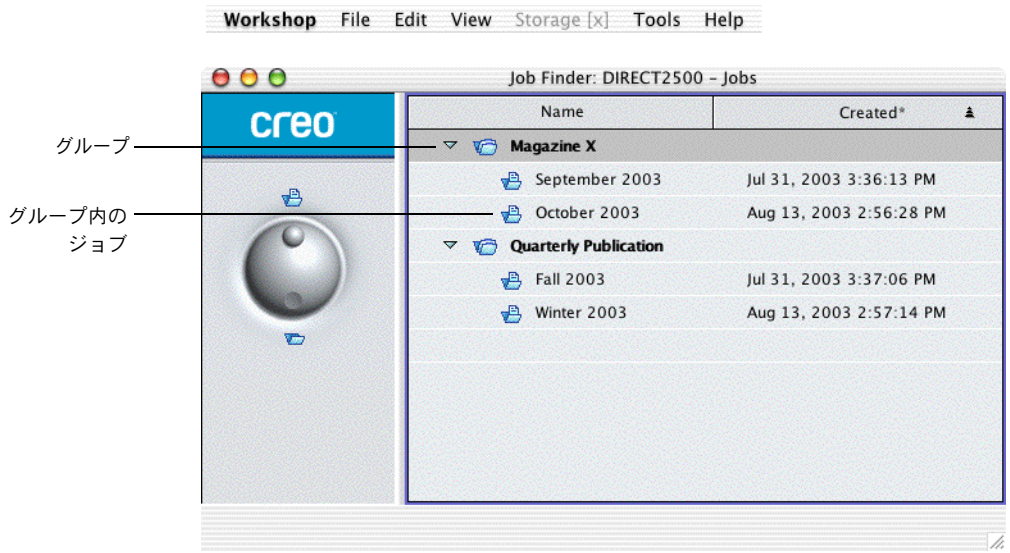


図 2: ジョブ ファインダ

グループは、ジョブ ファインダ内のみにある、Macintosh デスクトップまたは Windows エクスプローラで表示できます。グループの中にさらにグループを作成することもできます。

ジョブ

ジョブは、Prinergy で作業を組織化するために使用される単位です。一般的に、印刷する各出版物に対してジョブを作成します。ジョブを作成し、ジョブ データをジョブに送信します。

プリ-ジョブ

プリ-ジョブは、Prinergy Connect または Prinergy Powerpack システムから圧縮ファイルをインポートする場合に使用します。プリ-ジョブ ホット フォルダに圧縮ファイルをドロップすると、Prinergy は自動的に新規ジョブを作成します。

プロセス プラン

プロセス プランは、たとえばスポット カラーからプロセス カラーへの変換、または Virtual Proofing System プルーフの作成などの、プロセスを実行する方法を Prinergy Powerpack に指示する、ユーザー定義設定の集合です。プロセス プランは、繰り返しの多いワークフロー タスクを自動化し、時間を節約し、エラーを減らします。

プロセス プランは [プロセス プラン エディタ] で作成、編集し、グループに編成することができます。

プロセス プランとワークフロー プランを作成、編集、および削除できるようにするには、オペレータは このユーザーの権利を Prinergy Administrator に割り当てる必要があります。

ワークフロー プラン

ワークフロー プランを使用すると、複数のプロセス プランを統合することができます。また、ワークフロー プランを使用すると、Prinergy によりリファインおよび面付けプルーフ出力など一連のプロセスを自動的に実行できます。オペレーターはプロセスを監視するだけで、オペレーターの入力は必要ありません。

ホット フォルダ

ホット フォルダは、Prinergy Direct が受信ファイルに対応して監視するフォルダです。ホット フォルダにファイルをドロップすると、ジョブ データを送信できます。Prinergy では、ホット フォルダに関連するプロセス プランまたはワークフロー プランの指示に従って、自動的にジョブ データが処理されます。

Prinergy Workshop の使用方法

Prinergy Workshop で操作するメイン ウィンドウは 4 つあります。

- [ジョブ ファインダ] — グループ、ジョブ、およびプリ-ジョブを作成するために使用します。

  [ジョブ ファインダ] ウィンドウは、Prinergy Workshop 起動時に表示される最初のウィンドウです。

- [ジョブ マネージャ] — ジョブ データを送信した後、ワークフローにおけるほとんどのジョブ プロセス用に使用します。[ジョブ マネージャ] ウィンドウは、ジョブを開くと表示されます。

  [ジョブ マネージャ] では、[色版] と [履歴] の 2 つ表示で作業できます。[色版] 表示では、出力プロセスを開始して、カラー分版を管理したり、プルーフまたはプレートを作成したりします。[履歴] 表示は、ジョブ履歴のチェックに使用します。

- [プロセス プラン エディタ] — プロセス プランおよびワークフロー プランの作成に使用します。[ツール] メニューから [プロセス プラン エディタ] を選択して表示します。

- [キュー マネージャ] — プロセスの監視に使用します。[ツール] メニューから [キュー マネージャ] を選択すると表示されます。

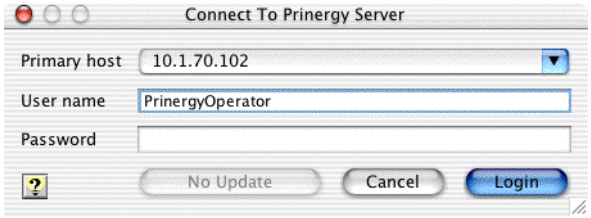
Prinergy Workshop の起動

Prinergy Workshop を開始するには



1. デスクトップまたは [Prinergy Workshop/bin] フォルダのアイコンをダブルクリックします。

   [Prinergy Server への接続] ダイアログ ボックスが表示されます。



2. [プライマリ ホスト] ボックスから、プライマリ サーバーを選択します。



注意: [プライマリ ホスト] ボックスにサーバーが表示されない場合は、サーバーが別の Windows サブネットに存在する可能性もあります。この場合は、[その他] を選択します。すると、[ホスト名の入力] ダイアログ ボックスが表示されます。サーバー名を入力し、[OK] をクリックします。[ホスト名の入力] ダイアログ ボックスが閉じると、サーバー名が [プライマリ ホスト] ボックスに表示されます。

3. [ユーザー名] ボックスに、Windows のユーザー名を入力します。

   ユーザー名またはパスワードがわからない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

4. [パスワード] ボックスに、Windows のパスワードを入力します。

5. [更新] ボタンが使用可能な場合は、[更新] をクリックして、クライアントのソフトウェア バージョンとサーバーのバージョンを同期させます。表示される更新メッセージの指示に従います。

6. [更新] ボタンが利用可能でない場合は、**プライマリ ホスト名**、**ユーザー名**、および**パスワード**が正しく入力されていることを確認し、[ログイン] をクリックします。

   [ジョブ ファインダ] ウィンドウが表示されます。これで、Prinergy Workshop を使用する準備ができました。

Prinergy Workshop 初期設定の設定

Prinergy Workshop の初期設定で、Prinergy ウィンドウに表示されるフォント サイズ、フォント タイプ、および測定単位を指定できます。Prinergy Workshop の初期設定を設定するには、[編集] メニューから [初期設定] を選択します。[Workshop 初期設定] ダイアログ ボックスには、[起動]、[全般]、および [表示] タブがあります。

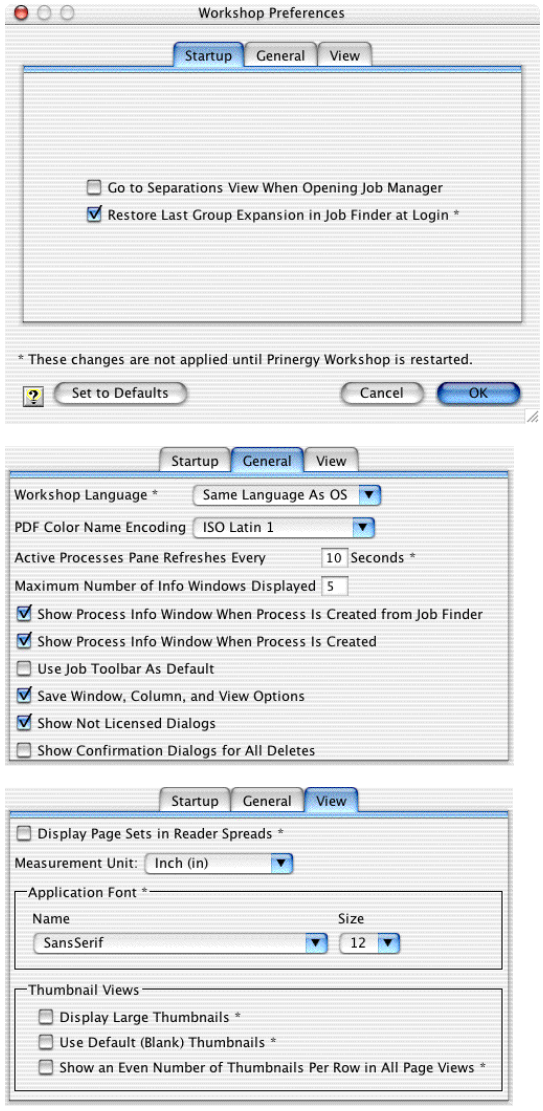


図 3: [Workshop 初期設定] ダイアログ ボックス: [起動]、[全般]、[表示] タブ

これらのオプションの詳細については、Prinergy Workshop オンライン ヘルプを参照してください。

Prinergy Direct ワークフロー概要

Prinergy Direct には、通常表 1 で説明されているワークフローの手順が含まれます。

表 1: Prinergy Direct ワークフロー概要

ワークフロー	ワークフロー手順	情報の検索場所
設定	1. 必要に応じてプロセス プランおよびワークフロー プランを作成する (実行するためのユーザー権限がある場合)。 2. 頻繁に使うプロセス プランのアイコンを表示するために、[ユーザー ツールバー] または [ジョブ ツールバー] を設定する。	第 2 章「ワークフローの設定」
ジョブの実行 — 基本	1. グループを作成する (オプション)。 2. ジョブまたはプリ-ジョブを作成する。 3. 必要に応じて画像検索パスおよびフォント検索パスを設定する。 4. ホット フォルダを管理する。 5. ホット フォルダにジョブ データをドロップする。 6. ホット フォルダを利用しない場合は、[色版] 表示を使用して出力 (プルーフまたは版) を作成する。 7. プロセスを監視する。 8. システムでファイルを管理する。	第 3 章「ジョブの実行: 基本的な手順」
ジョブの実行 — オプション	ジョブでは、次のオプションのいずれかが要求される場合があります。 • OPI (オープン プリプレス インターフェイス) • 色版を管理する • Prinergy カラー データベースを使用する • 共通の色版を識別する • フォント コンバータを使用する	第 4 章「ジョブの実行: 追加手順」

2

ワークフローの設定

ワークフローの設定 14
Workshop ウィンドウのカスタマイズ 16
グループの作成 17
ジョブおよびプリ-ジョブの作成 17
プロセス プランおよびワークフロー プランの設定 19
プロセス プランの作成 22
ワークフロー プランの作成 37
ユーザー ツールバーおよびジョブ ツールバーの設定 38
画像検索パスの追加 39
フォント検索パスの追加 39
ホット フォルダの管理 40

ワークフローの設定

この章では、ジョブを実行する前 (つまり、Prinergy Direct でジョブまたはプリ-ジョブにジョブ データ ファイルを送信する前) に行わなければならないタスクについて説明します。ジョブを実行する前に、以下を実行する必要があります。

- 必要に応じてプロセス プランおよびワークフロー プランを作成する (実行するためのユーザー権限がある場合)
- 1 つまたは複数のグループを作成する (オプション)
- ジョブまたはプリ-ジョブを作成する
- 頻繁に使用する面付けプルーフ出力および最終出力プロセス プランのアイコンを表示するために、[ユーザー ツールバー] および [ジョブ ツールバー] を設定する
- 必要に応じて画像検索パスおよびフォント検索パスを設定する
- ホット フォルダを管理する

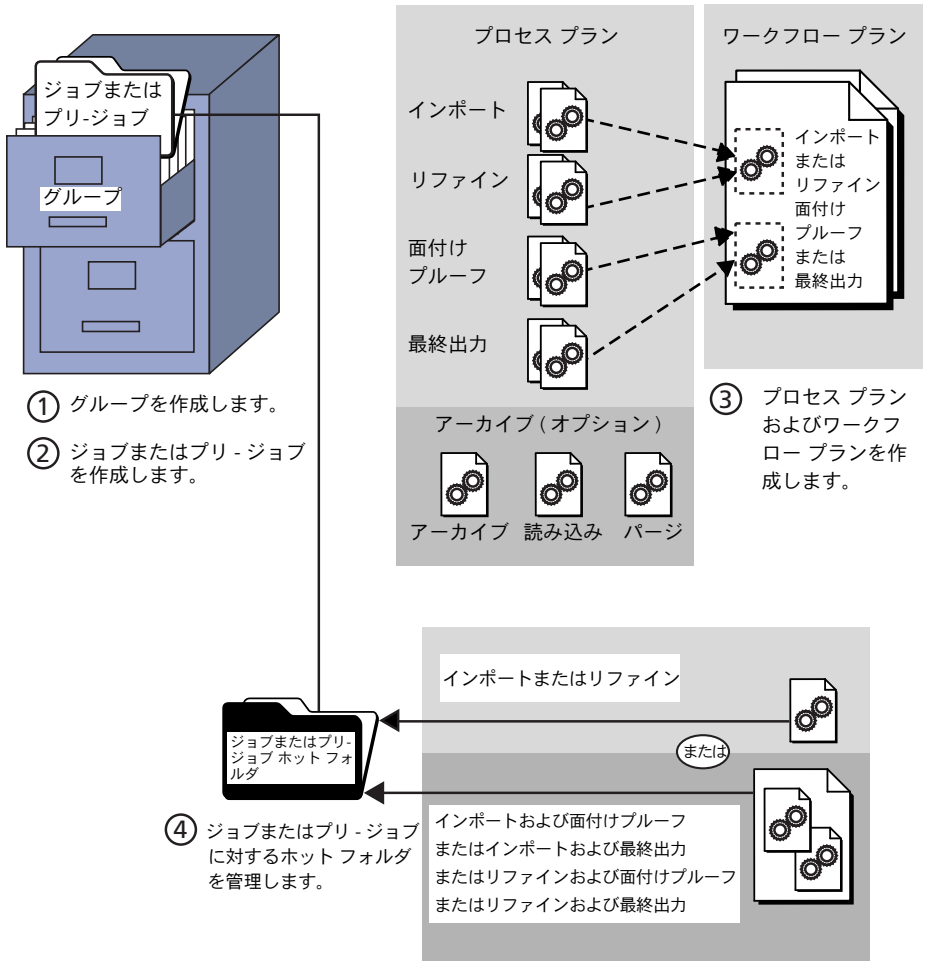


図 4: Prinergy Direct ワークフローの設定

Workshop ウィンドウのカスタマイズ

項目の表示、非表示を切り替えることによって、Prinergy Workshop のウィンドウをカスタマイズできます。[表示] メニューから表示項目を選択して、**表示する列**を選択します。

各 Prinergy Workshop ウィンドウは、個別にカスタマイズします。設定は、ジョブ ベースで維持されます。

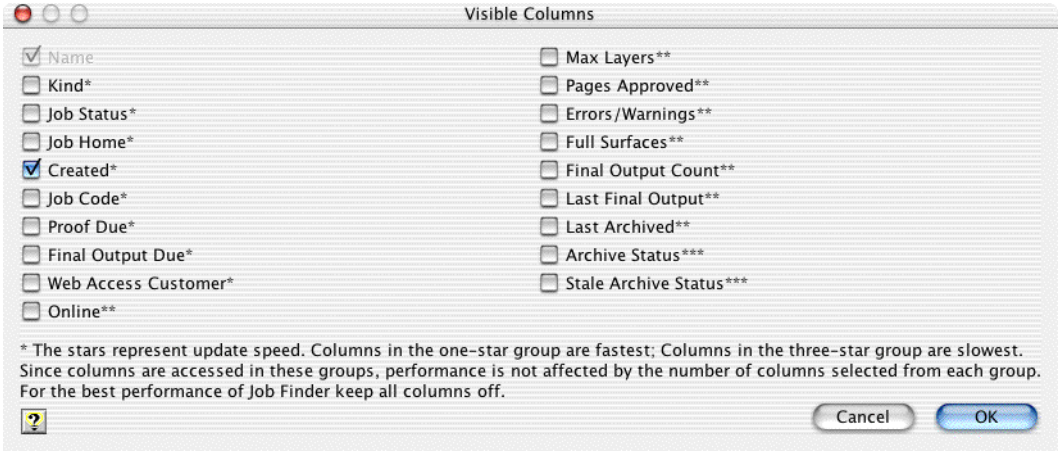


図 5: [ジョブ ファインダ] の [表示項目] ダイアログ ボックス

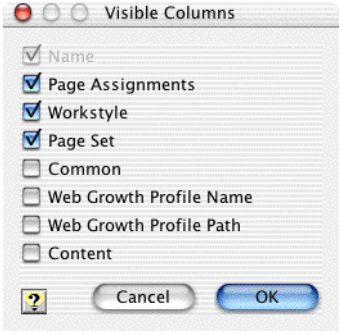


図 6: [ジョブ マネージャ] の [表示項目] ダイアログ ボックス

グループの作成

Prinergy Direct では、ジョブおよびプリ-ジョブを整理するためにグループを作成できます。ジョブおよびプリ-ジョブを作成する前に、ジョブの編成方法およびグループの作成方法を決定しておくことをお勧めします。

グループは、[ジョブ ファインダ] で [ファイル] メニューから [グループの新規作成] を選択すると作成できます。

詳細については、7 ページの「[グループ]」を参照してください。

ジョブおよびプリ-ジョブの作成

グループを作成したら、グループ内にジョブまたはプリ-ジョブを作成できます。ジョブまたはプリ-ジョブは、印刷する各出版物に対して作成することが推奨されます。

ジョブまたはプリ-ジョブのいずれを作成するかは、Prinergy Direct に取り込むジョブ データの種類によって異なります。

- Prinergy Connect または Prinergy Powerpack からエクスポートされたジョブ データを含む圧縮ファイルをインポートする場合は、プリ-ジョブを作成する必要があります。つまり、リモート刷版を実行する場合は、プリ-ジョブを作成します。
- ジョブ データ (例: Preps で作成した面付けされたフラット) を Prinergy Direct に直接送信する場合は、ジョブを作成します。

ジョブおよびプリ-ジョブは、[ジョブ ファインダ] で作成します。ジョブを作成する場合は、[ジョブ] で [ジョブ] 表示を使用し、プリ-ジョブを作成する場合は、[プリ-ジョブ] 表示を使用します。[ジョブ] と [プリ-ジョブ] 表示間を切り替えるには、[選択用ホイール] を使用します。



[選択用ホイール] のくぼみをクリックして、[ジョブ] 表示と [プリ-ジョブ] 表示間を切り替えます。

図 7: [選択用ホイール] (ジョブ ファインダ)

希望の [ジョブ ファインダ] 表示を選択したら、[ファイル] メニューから [ジョブの新規作成] または [プリ-ジョブの新規作成] を選択します。

注意: グループ間でのジョブの移動およびジョブの名前変更は、[ジョブ ファインダ] の [ファイル] メニューから [ジョブの移動] オプションおよび [ジョブの名前変更] オプションをそれぞれ選択することによって実行できます。[編集] メニューから [ジョブの検索] オプションを使用して、ジョブを検索できます。

ジョブを開く

新規のジョブまたはプリ-ジョブを作成すると、そのジョブまたはプリ-ジョブは、[ジョブ マネージャ] で自動的に開きます。

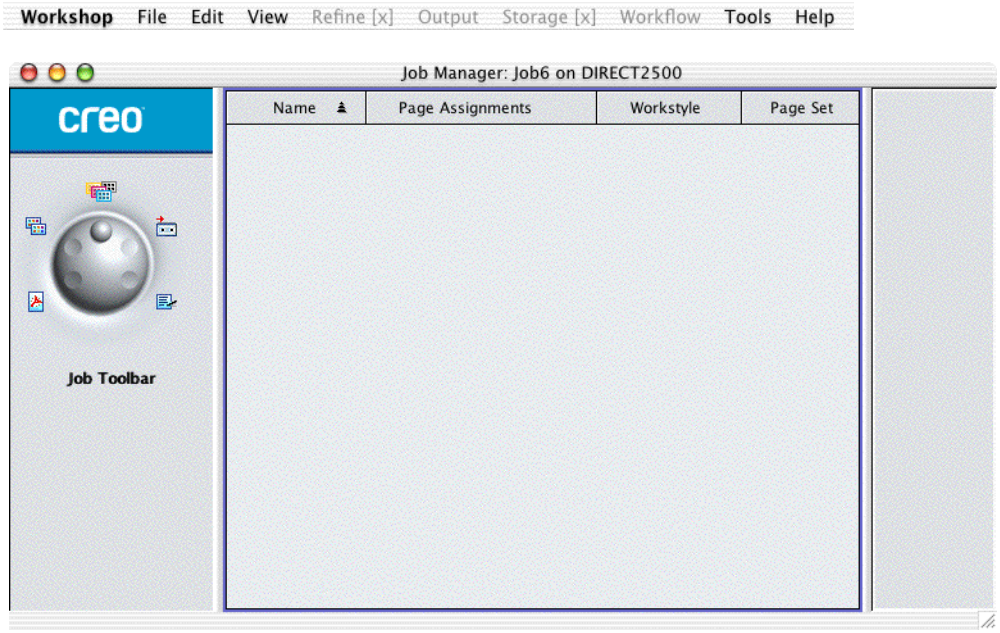


図 8: [ジョブ マネージャ]

プロセス プランおよびワークフロー プランの設定

ジョブを実行する前に、Prinergy Direct に送信されたジョブ データの処理方法を決定するパラメータを設定する必要があります。これらのパラメータは、プロセス プラン内で設定します。独自の設定を持つプロセス プランを作成したり、Prinergy Direct に付属しているデフォルトのプロセス プランを使用することができます。



注意: Prinergy Administrator で設定されたユーザー権限により、プロセス プランおよびワークフロー プランを作成、編集、および削除する Prinergy Workshop のユーザーが決定されます。ログインしていたオペレータに必要なユーザー権限がない場合、[プロセス プラン エディタ] メニュー オプションは使用できません。ユーザーの権利の詳細については、Prinergy Administrator オンライン ヘルプを参照してください。

Prinergy Direct ワークフローの異なる部分には、異なるタイプのプロセス プランがあります。Prinergy Direct ワークフロー プロセスと、それに対応するプロセス プラン タイプについては、表 2 に説明されています。ワークフローでは、利用可能なプロセスをすべて使用する必要はありません。

表 2: ワークフロー プロセスおよび対応するプロセス プラン タイプ

ワークフロー プロセス	使用するプラン
インポート*	インポート プロセス プラン
リファイン**	リファイン プロセス プラン
ソフト プルーフ (Virtual Proofing System) の作成	面付けプルーフ出力プロセス プラン
面付けされたプルーフの作成	面付けプルーフ出力プロセス プラン
コントラクト プルーフの作成	面付けプルーフ出力プロセス プラン
版の作成	最終出力プロセス プラン
ジョブのアーカイブ***	アーカイブ プロセス プラン
ジョブの取得***	取得プロセス プラン
ジョブのパージ***	パージ プロセス プラン

* Prinergy Connect または Prinergy Powerpack システムからのジョブ データをインポートし、リモート刷版を実行する場合、インポート プロセス プランを使用します。

** Direct に直接フラットを送信する場合、リファイン プロセス プランを使用します。

*** アーカイブのライセンスが付与されている場合にのみ利用可能です。

プロセス プランを使用すると、そのプロセス プラン設定に基づいて、ジョブ データが自動的に処理されます。

ワークフローをさらに自動化するには、プロセス プランをワークフロー プラン内で組み合わせます (例: リファイン プロセス プランと面付けプルーフ出力プロセス プランを組み合わせる)。ジョブ データは、すべてのプロセス プラン設定に基づいて、1 つのシームレスな操作で処理されます。

プロセス プラン エディタの使用

プロセス プランおよびワークフロー プランは、プロセス プラン エディタで作成したり変更します。プロセス プラン エディタにアクセスするには、[ツール] メニューから [プロセス プラン エディタ] を選択します。

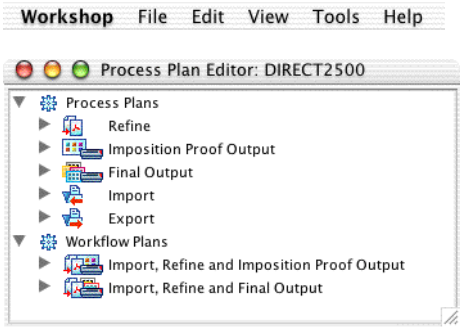


図 9: [プロセス プラン エディタ]

プロセス プランおよびワークフロー プランをグループに整理できます。

プロセス プラン

プロセス プラン エディタには、プロセス プラン タイプ、プロセス プラン グループ、およびプロセス プラン グループ内のプロセス プランが表示されます。

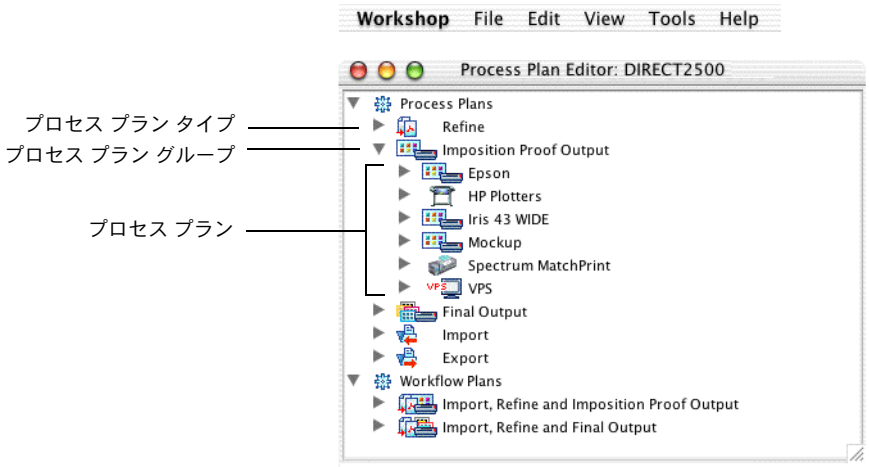


図 10: [プロセス プラン エディタ] (プロセス プラン)

ワークフロー プラン

プロセス プラン エディタにはまた、ワークフロー プラン タイプ、ワークフロー プラン グループ、およびワークフロー プラン グループ内のワークフロー プランが表示されます。

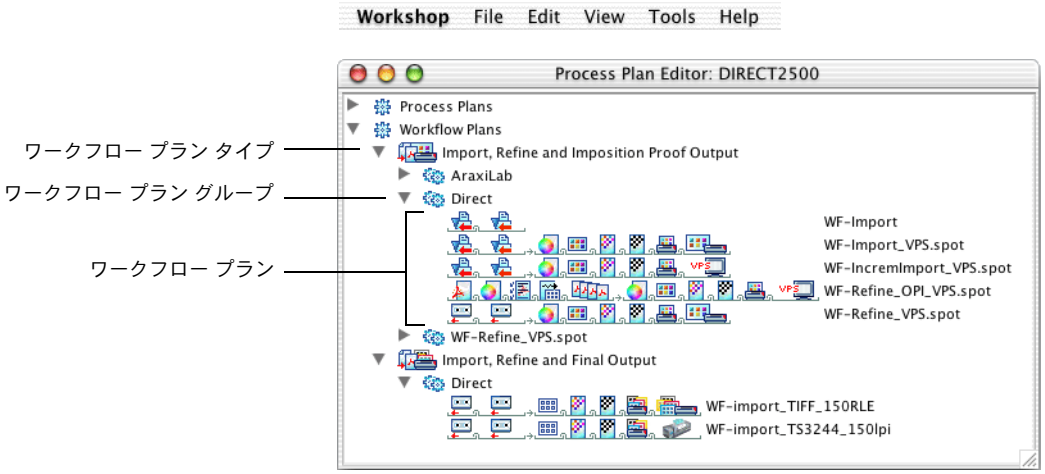


図 11: [プロセス プラン エディタ] (ワークフロー プラン)

プロセス プランの作成

Prinergy Direct では、以下のタイプのプロセス プランを作成できます。

- インポート
- リファイン
- 面付けプルーフ出力
- 最終出力
- アーカイブ (オプション)
- 取得 (オプション)
- パージ (オプション)

注意: アーカイブ プロセス プラン、取得プロセス プラン、およびパージ プロセス プランは、アーカイブのライセンスが与えられている場合にのみ作成できます。

プロセス プランを開くと、そのプロセスで利用可能なオプションを含むダイアログ ボックスが表示されます。

インポート プロセス プラン

ジョブ データを Prinergy Connect または Prinergy Powerpack システムから Prinergy Direct にインポートする場合は、インポート プロセス プランを使用します。インポート プロセス プランでは、データをインポートするときに Prinergy Direct で使用する設定を選択します。

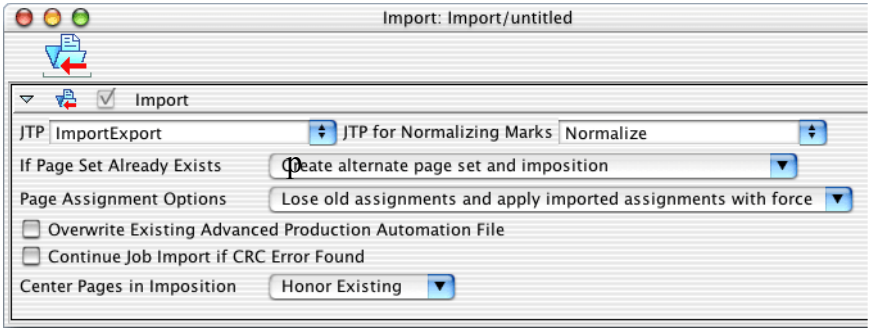


図 12: インポート プロセス プラン

リファイン プロセス プラン

リファイン プロセス プランでは、Prinergy Direct に送信したジョブ データをリファインします。送信されたジョブ データは、リファイン プロセスによって、プルーフ、版、またはフィルムに対して準備されます。PDF 以外のファイル形式 (例: PostScript、EPS、DCS) を Prinergy Direct に送信した場合は、それらの形式はリファイン プロセスによって PDF に変換されます。

注意: 別の Prinergy システムからインポートされたジョブ データは、リファインする必要はありません。エクスポートする Prinergy システムでリファインされます。

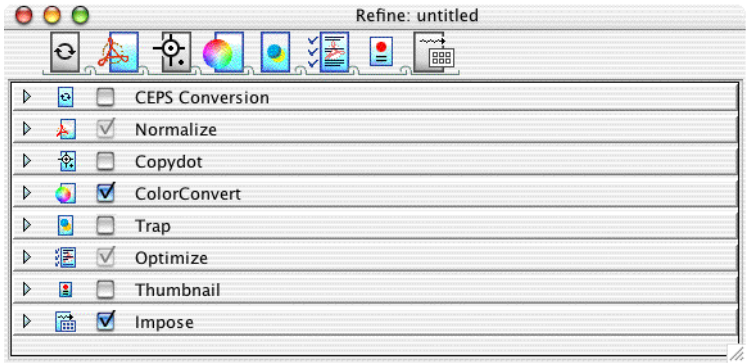


図 13: リファイン プロセス プラン

Prinergy Direct でのリファイン プロセスには、以下の手順が含まれます。

- ノーマライズ
- コピードット
- カラー コンバート
- オプティマイズ
- 面付け

注意: リファイン プロセス プランの [CEPS コンバージョン] セクション、[トラップ] セクション、および [サムネイル] セクションは、Prinergy Direct では利用できません。

ノーマライズ

ノーマライズでは、送信された PDF フラットではないジョブ データ ファイル (例: PostScript、EPS) を PDF に変換します。

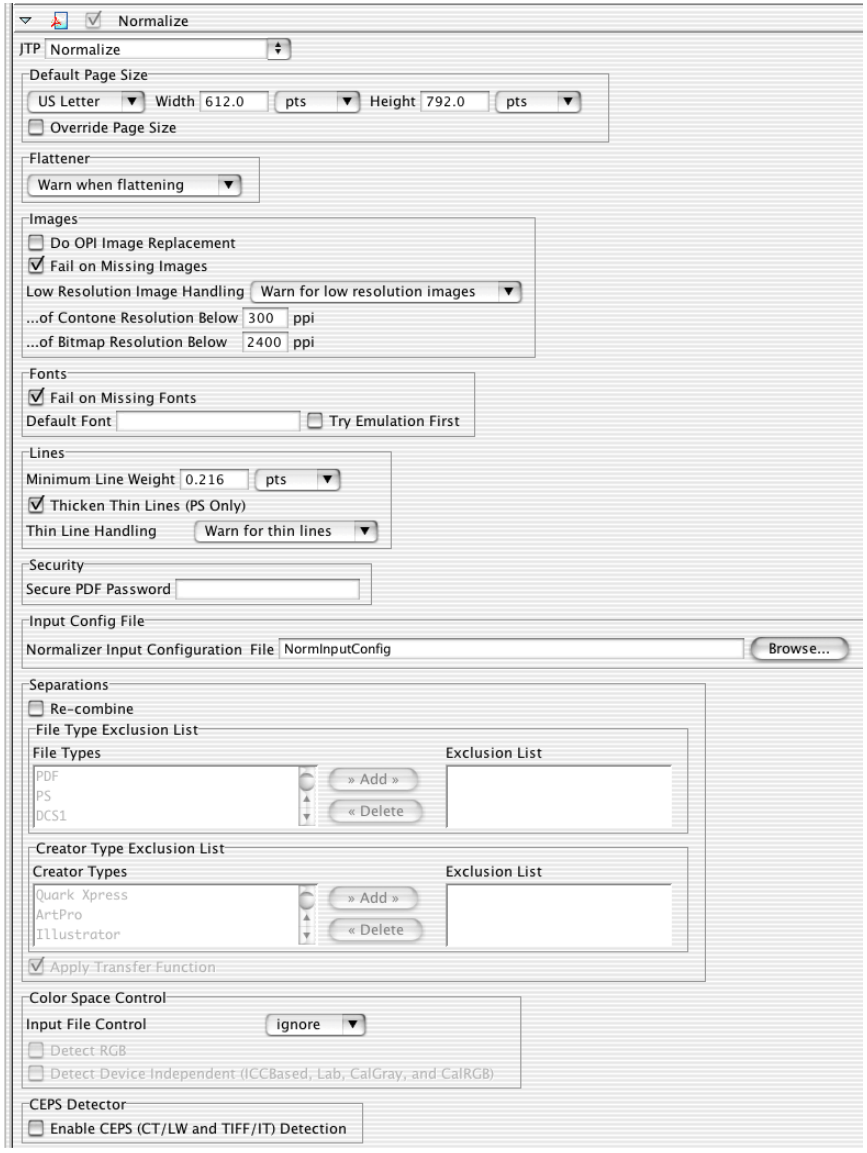


図 14: [ノーマライズ] セクション (リファイン プロセス プラン)

[ノーマライズ] セクションでは、以下の項目を設定できます。

- ページ サイズ
- OPI (オープン プリプレス インターフェイス)

  Prinergy では、低解像度のプレースホルダ画像を高解像度の画像で置換します。
- フォント処理

コピードット

ワークフローのコピードット データをリサンプルする場合は、[コピードット] セクションを使用してパラメータを設定します。

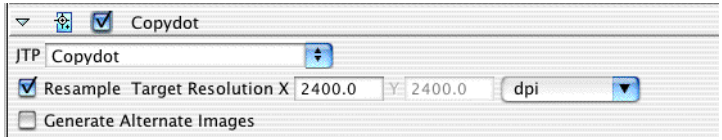


図 15: [コピードット] セクション (リファイン プロセス プラン)

カラー コンバート

[カラー コンバート] セクションでは、カラー マッピングおよびカラー マッチングを実行します。

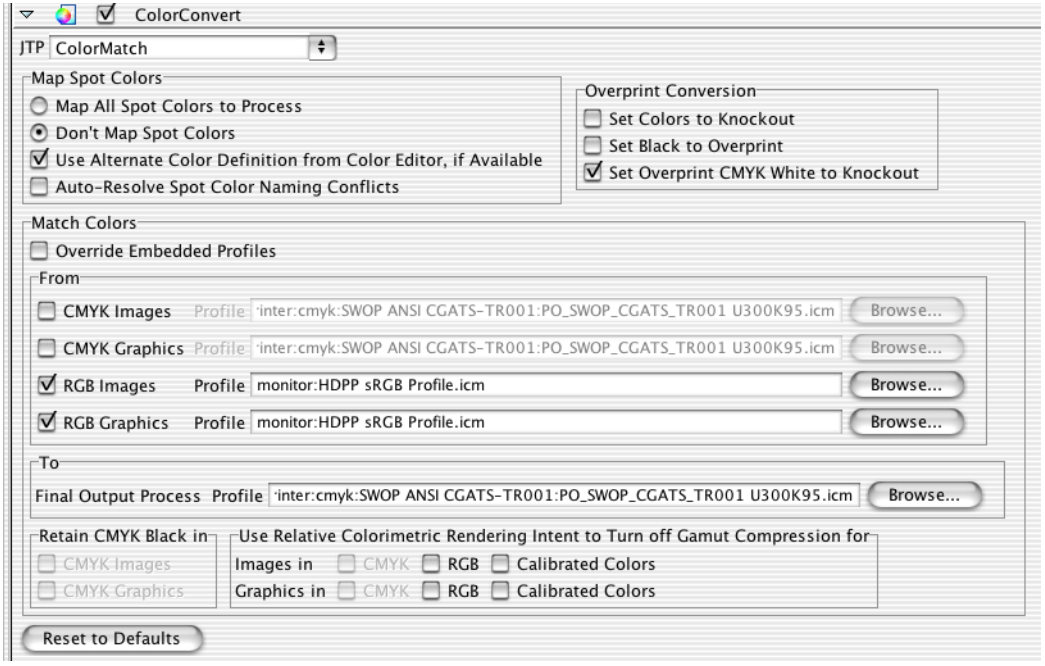


図 16: [カラー コンバート] セクション (リファイン プロセス プラン)

スポット カラー マッピングは、スポット カラーの処理方法を決定します。

リファイン プロセス プランでは、Prinergy を使用して以下を実行できます。

- スポット カラーを異なる出力色版として出力する
- スポット カラーをプロセス (CMYK) に変換する

スポット カラーで作業する場合は、リファイン中にスポット カラーを処理することが推奨されます。

[カラー コンバート] セクションでは、以下の 2 つの色管理機能も処理されます。

- RGB 画像変換
- CMYK と CMYK のカラー マッチング

RGB 画像変換 — Prinergy に付属の標準 ICC (International Color Consortium) プロファイルを使用して、RGB 画像を自動的に CMYK に変換できます。RGB 変換はほとんどの場合に必要であるため、これは、リファイン プロセス プランにおけるデフォルトの設定です。

CMYK と CMYK のカラー マッチング — Prinergy カラー マッチングでは、ICC プロファイルを使用して、PDF のカラー スペースを、特定の出力デバイスに適切なカラー スペースに変換します。このオプションは標準ではなく、別途に購入する必要があります。

オプティマイズ

[オプティマイズ] セクションを使用すると、Prinergy により PDF ワークフローで高解像度の画像を処理する方法を決定できます。オプティマイズ プロセスには、カラー画像とグレースケール画像の両方に対するオプションのダウンサンプルが含まれます。

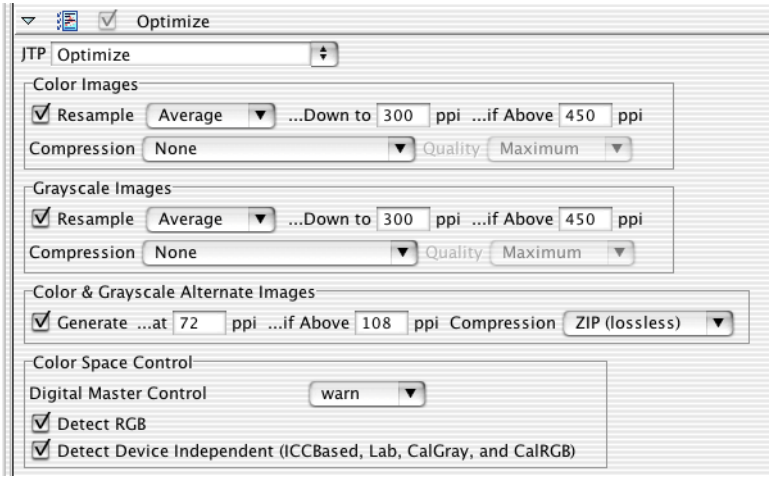


図 17: [オプティマイズ] セクション (リファイン プロセス プラン)

面付け

[面付け] セクションでは、送信したジョブ データに対する面付け処理を決定します。



重要: Prinergy Direct の場合、[入力ファイルをフラットとして処理] オプションを選択する必要があります。Prinergy Direct では、ページは処理されません。このオプションを選択しなかった場合、Prinergy Direct ではジョブ データを正常にリファインできません。

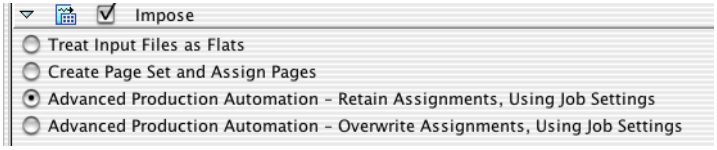


図 18: [面付け] セクション (リファイン プロセス プラン)

面付けプルーフ出力プロセス プラン

面付けプルーフ出力プロセス プランは、以下を作成するために使用します。

- Virtual Proofing System ソフトウェアを使用したソフト プルーフ

  Virtual Proofing System のプルーフは、お持ちのコンピュータ画面で表示可能なソフト プルーフです。

Virtual Proofing System についての詳細は、『Virtual Proofing System ユーザー ガイド』または『PC 用 Virtual Proofing System ユーザー ガイド』を参照してください。

- 面付けされたプルーフ (Epson や Iris 43 Wide などのカラー プルーフ デバイスを使用)
- コントラクト プルーフ (Trendsetter Spectrum などの出力デバイスを使用)
- TIFF ファイル (G4 圧縮)

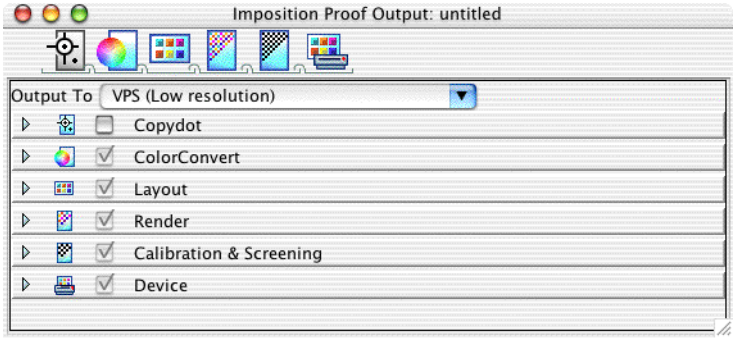


図 19: 面付けプルーフ出力プロセス プラン

面付けプルーフ出力プロセス プランでは、以下のセクションで設定を選択します。

- **コピードット**
- **カラー コンバート**
- **レイアウト**
- **レンダー**
- **キャリブレーションとスクリーニング**
- **デバイス**

各セクションには画像および簡単な説明があります。

コピードット

[コピードット] セクションを使用すると、コピードット データをリサンプルするための設定を指定できます。

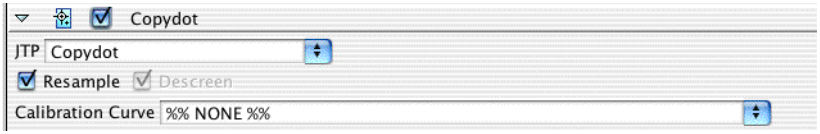


図 20: [コピードット] セクション (面付けプルーフ出力プロセス プラン)

カラー コンバート

カラー マッチング設定を指定するには、[カラー コンバート] セクションを使用します。

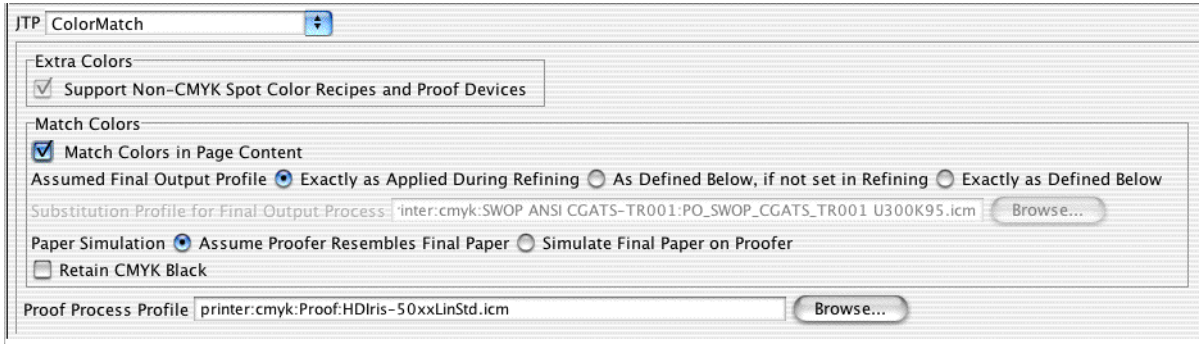


図 21: [カラー コンバート] セクション (面付けプルーフ出力プロセス プラン)

レイアウト

メディア設定、配置、およびスケールを選択するには、[レイアウト] セクションを使用します。

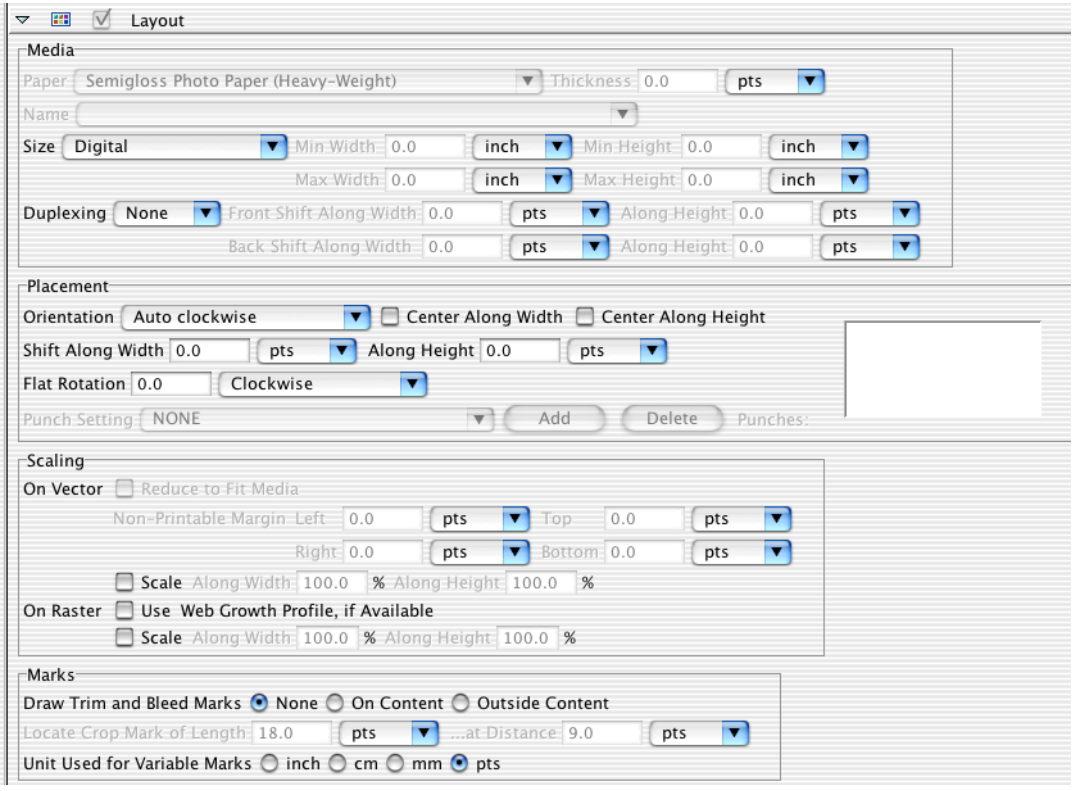


図 22: [レイアウト] セクション (面付けプルーフ出力プロセス プラン)

レンダー

プルーフ デバイスでジョブが処理される方法を指定するには、[レンダー] セクションを使用します。

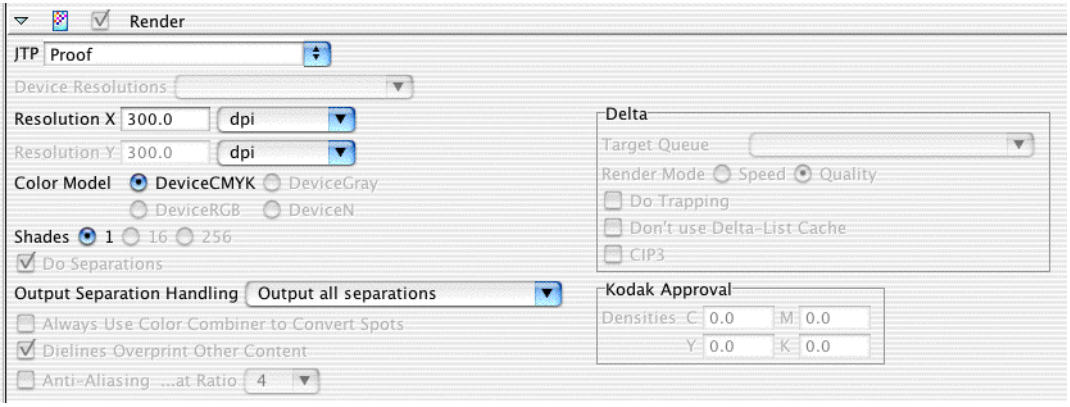


図 23: [レンダー] セクション (面付けプルーフ出力プロセス プラン)

キャリブレーションとスクリーニング

[キャリブレーションとスクリーニング] セクションを使用すると、ジョブがプルーフに出力されるときに使用されるキャリブレーションとスクリーニングを決定できます。たとえば、プルーフの作成時に使用されるキャリブレーション カーブを選択することができます。また、必要な場合は、スクリーニング情報を保存するスクリーニング設定を選択することもできます。

キャリブレーション カーブは、Prinergy に付属の Harmony キャリブレーション ソフトウェアを使用して設定します。

Harmony およびキャリブレーションの詳細については、『Harmony ユーザー ガイド』を参照してください。

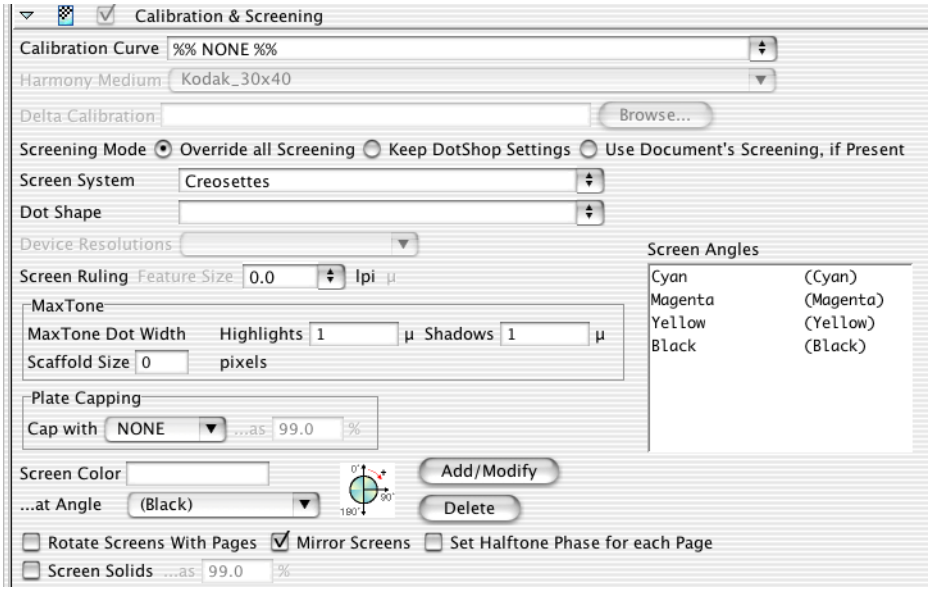


図 24: [キャリブレーションとスクリーニング] セクション (面付けプルーフ出力プロセス プラン)

デバイス

プルーフを作成するために使用するプルーフ デバイスに対して設定を選択するには、[デバイス] セクションを使用します。Iris 43 Wide や LaserWriter などのプルーフ デバイスでプルーフを作成する場合は、ネットワーク デバイス パスを指定する必要があります。

注意: Virtual Proofing System プルーフを作成すると、Prinergy によって、その Virtual Proofing System 用の新規フォルダがジョブ フォルダ内に自動的に作成されます。

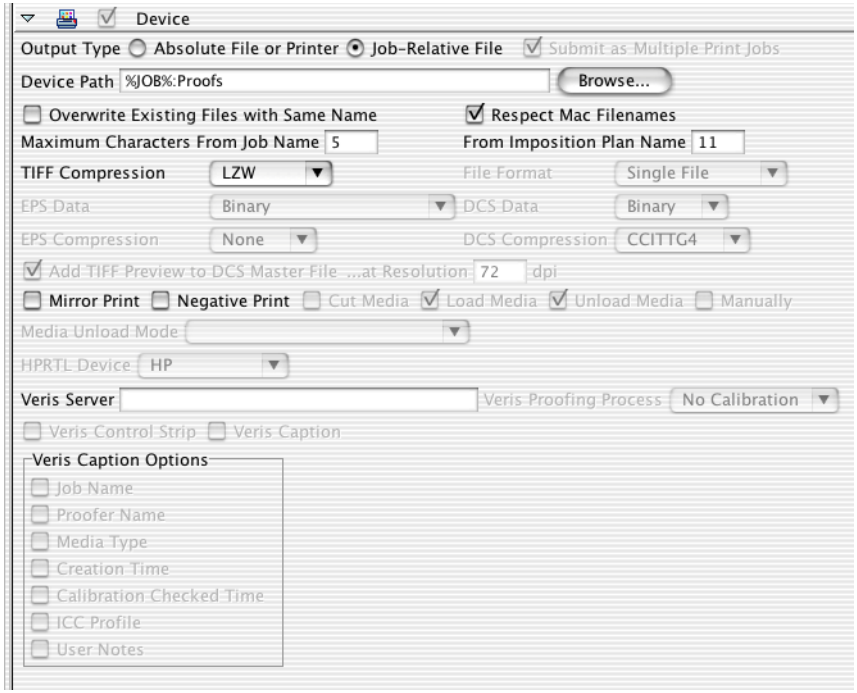


図 25: [デバイス] セクション (面付けプルーフ出力プロセス プラン)

最終出力プロセス プラン

最終出力プロセス プランには、版やフィルムを作成するときに Prinergy によって使用される設定が含まれます。最終出力プロセス プランで利用可能なプロセス設定の多くは、28 ページの「面付けプルーフ出力プロセス プラン」で説明されている面付けプルーフ出力プロセス プランでのプロセス設定と同様です。

注意: [デバイス] セクションの設定は、最終出力プロセス プランには利用できません。

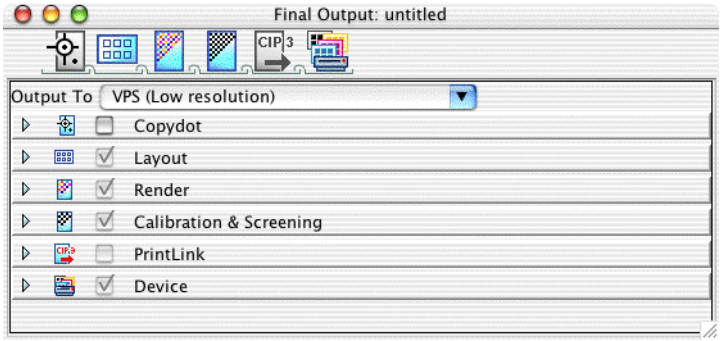


図 26: 最終出力プロセス プラン

PrintLink (オプション)

PrintLink は、ライセンスの付与が可能なオプションです。ライセンスが与えられている場合、最終出力プロセス プランの [PrintLink] セクションで設定を指定できます。デジタル インク キー プリセットに対して PPF ファイルを生成する場合は、[PrintLink] セクションを使用します。色版のインク領域を一覧表示するインク レポートの印刷も可能です。インク レポートの詳細については、Prinergy Workshop オンライン ヘルプを参照してください。

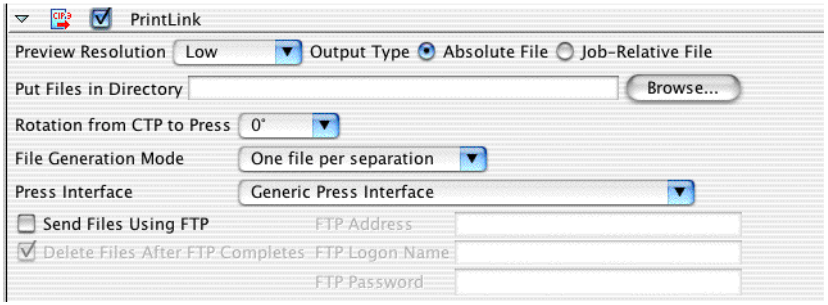


図 27: [PrintLink] セクション (最終出力プロセス プラン)

アーカイブ プロセス プラン (オプション)

アーカイブは、ライセンスの付与が可能なオプションです。アーカイブのライセンスが与えられている場合は、アーカイブ プロセス プランを使用して、ジョブ情報が Prinergy システムに保存されるときに使用される設定を選択できます。

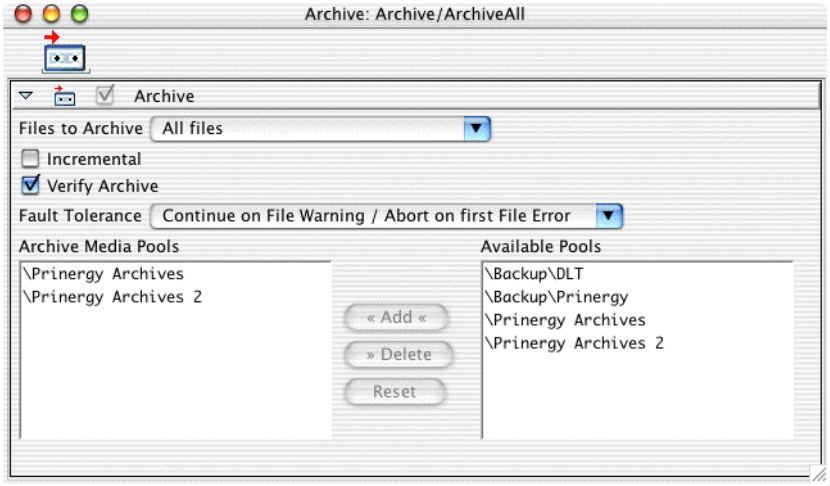


図 28: アーカイブ プロセス プラン

アーカイブのライセンスが与えられている場合は、パージ プロセス プランと取得プロセス プランも使用できます。

パージ プロセス プラン (オプション)

パージ プロセス プランは、アーカイブのライセンスが与えられている場合にのみ利用可能です。パージ プロセス プランでは、ジョブ情報が Prinergy システムからパージされるときに使用される設定を選択できます。

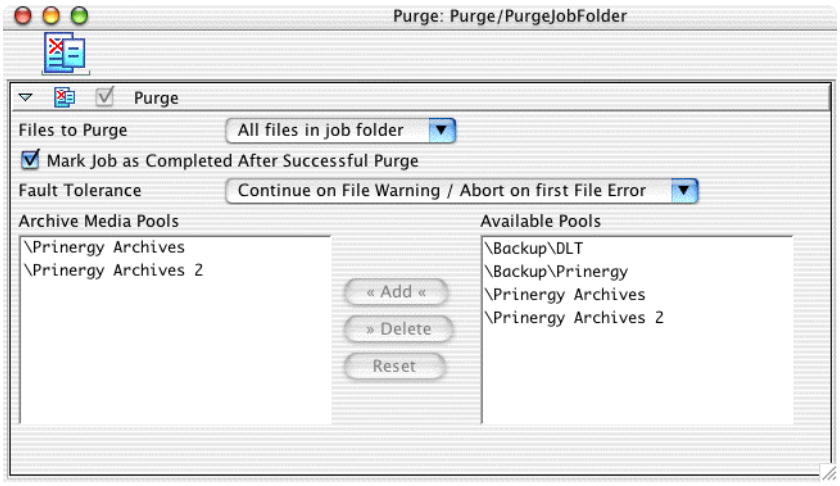


図 29: パージ プロセス プラン

取得プロセス プラン (オプション)

取得プロセス プランは、アーカイブのライセンスが与えられている場合にのみ利用可能です。取得プロセス プランでは、ジョブ情報が Prinergy システムから取得されるときに使用される設定を選択できます。

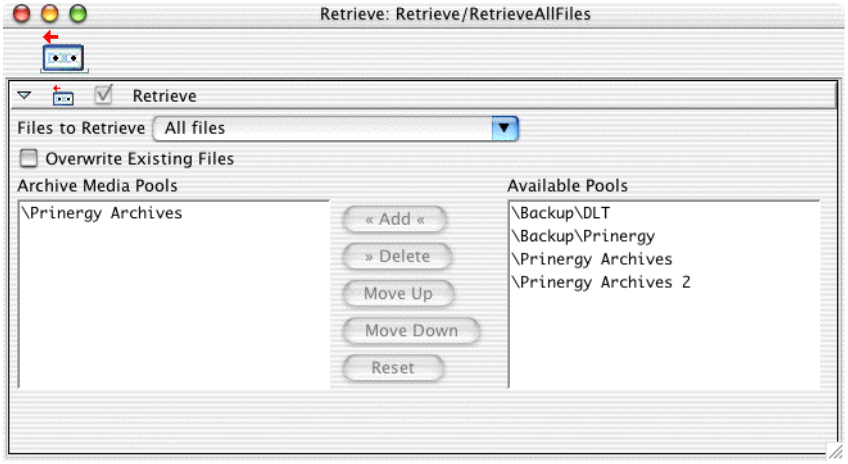


図 30: 取得プロセス プラン

ワークフロー プランの作成

プロセス プランを作成すると、異なるタイプのプロセス プランをワークフロー プラン内で組み合わせることができます。また、ワークフロー プランを使用すると、Prinergy によってジョブ プロセスが 1 つのシームレスな操作で実行されるため、ジョブ処理を自動化できます。

たとえば、インポート プロセス プランと面付け出力プルーフ (Virtual Proofing System) プロセス プランをワークフロー プラン内で組み合わせることができます。その後、このワークフロー プランをプリ-ジョブ ホット フォルダに割り当てます。ジョブ データをホット フォルダに送信すると、Prinergy によりそのジョブ データがインポートされ、新規ジョブが作成されて、Virtual Proofing System を使用して表示できるソフト プルーフが作成されます。

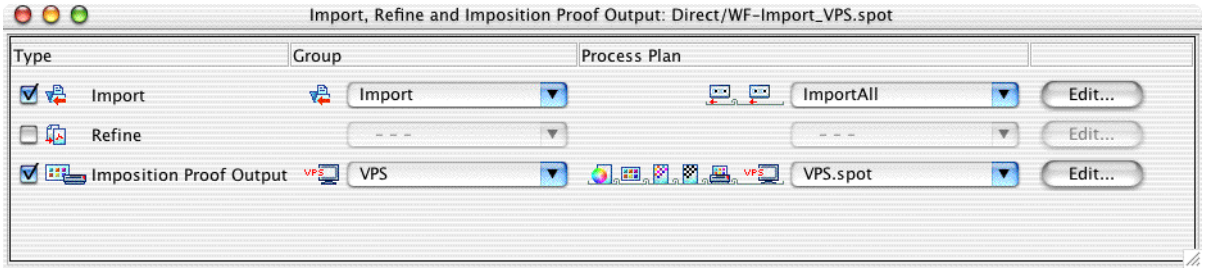


図 31: ワークフロー プランのダイアログ ボックス

重要: Prinergy Direct では、ワークフロー プランはホット フォルダと共にのみ使用されます。ジョブ データを送信した後で起こったプロセスに対してワークフロー プランを使用することはできません。

ユーザー ツールバーおよびジョブ ツールバーの設定

時間と労力を節約するために、[ユーザー ツールバー] または [ジョブ ツールバー] で、頻繁に使用するプロセス プラン用のアイコンを表示できます。ツールバーは、ホット ホルダにジョブ データを送信した後で起こるプロセス (つまり、面付けプルーフ出力プロセス プランと最終出力プロセス プラン) を開始するために使用します。折丁や色版などの要素を選択し、使用するプロセス プランの隣にあるツールバーでアイコンをクリックして、プロセスを開始します。

アイコンは、[ジョブ マネージャ] の [編集] メニューから [ユーザー ツールバーの管理] または [ジョブ ツールバーの管理] を選択して、[ユーザー ツールバー] または [ジョブ ツールバー] に追加します。

[ユーザー ツールバー] 上のプロセス プラン

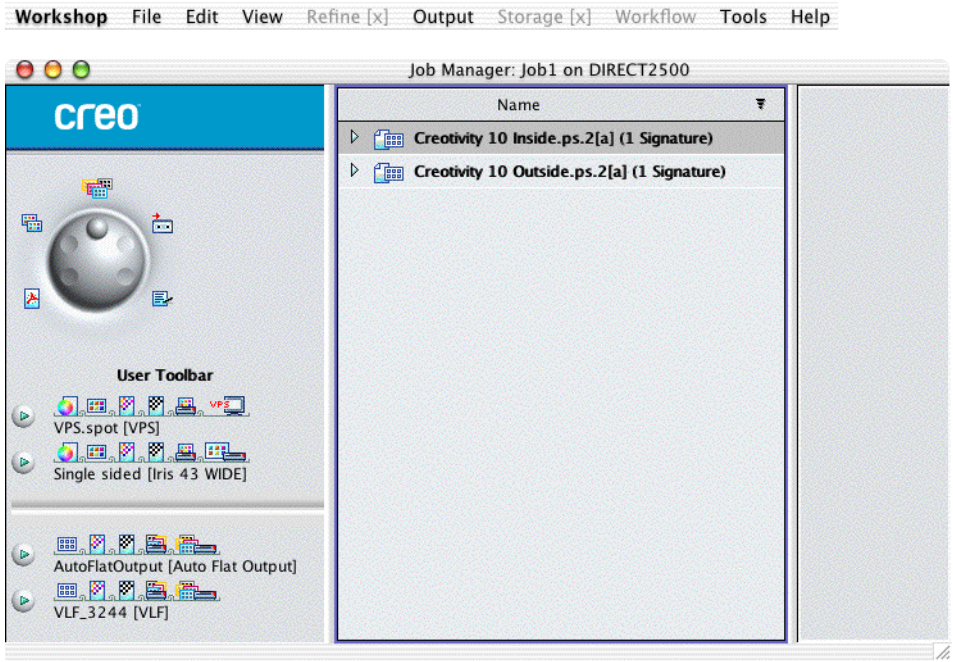


図 32: [ジョブ マネージャ] (ユーザー ツールバー)

画像検索パスの追加

OPI を使用して、低解像度画像の代わりに高解像度画像を使用する必要がある場合は、[画像検索パス] ダイアログ ボックスで画像検索パスを入力する必要があります。[画像検索パス] ダイアログ ボックスへは、[編集] メニューから [画像検索パス] を選択することによってアクセスします。

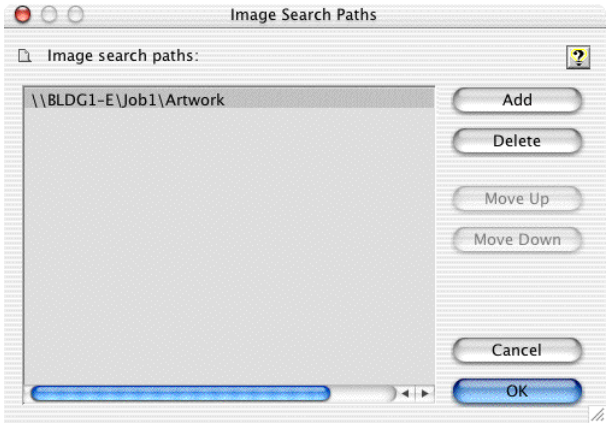


図 33: [画像検索パス] ダイアログ ボックス

フォント検索パスの追加

フォントがファイルに埋め込まれていない場合は、[フォント検索パス] ダイアログ ボックスでフォント検索パスを設定する必要があります。[ジョブ マネージャ] の [フォント検索パス] ダイアログ ボックスへは、[編集] メニューから [フォント検索パス] を選択してアクセスします。

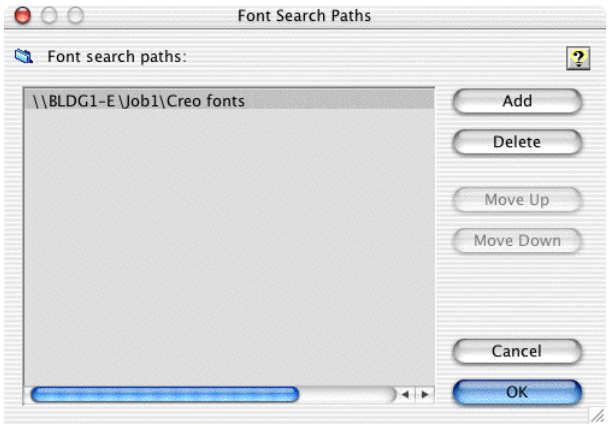


図 34: [フォント検索パス] ダイアログ ボックス

ホット フォルダの管理

ジョブまたはプリ-ジョブを作成したら、そのジョブまたはプリ-ジョブに対してホット フォルダを設定する必要があります。ホット フォルダは、プロセス プランまたはワークフロー プランをそのホット フォルダに割り当てることによって設定します。

ホット フォルダには、以下のタイプのプロセス プランを割り当てることができます。

- インポート (プリ-ジョブ)
- リファイン (ジョブ)

また、ホット フォルダには、以下のタイプのワークフロー プランを割り当てることもできます。

- インポートおよび面付けプルーフ出力 (プリ-ジョブ)
- インポートおよび最終出力 (プリ-ジョブ)
- リファインおよび面付けプルーフ出力 (ジョブ)
- リファインおよび最終出力 (ジョブ)

選択するプロセス プランまたはワークフロー プランのタイプは、使用するジョブ データのタイプや、ワークフローで希望する自動化の設定などによって異なります。

プロセス プランまたはワークフロー プランをホット フォルダに割り当てるには

1. [ジョブ マネージャ] の [編集] メニューから [ホット フォルダの管理] を選択します。

   [ジョブに対するホット フォルダの管理] ダイアログ ボックスが表示されます。

2. [追加] をクリックします。

   [ジョブに対するホット フォルダの作成] ダイアログ ボックスが表示されます。

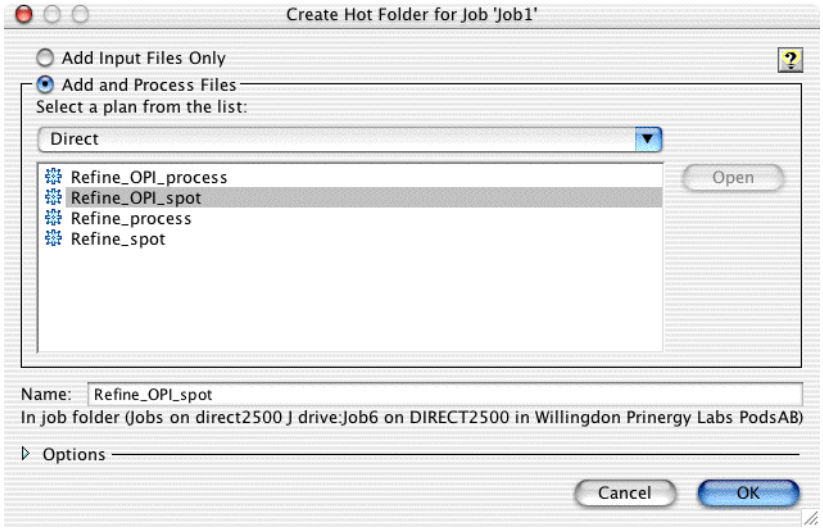


図 35: [ジョブに対するホット フォルダの作成] ダイアログ ボックス

3. [ファイルの追加と処理] を選択し、次にホット フォルダに割り当てるプロセス プランまたはワークフロー プランを選択します。

4. [OK] をクリックします。

   選択したプロセス プランまたはワークフロー プランが、[ジョブに対するホット フォルダの管理] ダイアログ ボックスに表示されます。

5. [閉じる] をクリックします。

これで、作成したジョブまたはプリ-ジョブにジョブ データを送信する準備ができました。

注意: ホット フォルダへは、複数のプロセス プランまたはワークフロー プランを割り当てることができます。

3

ジョブの実行: 基本的な手順

Prinergy Direct でのジョブの実行 44
ジョブ データの追加 46
ジョブの処理とホットフォルダ 47
ジョブ データのインポート 47
ジョブ データのリファイン 48
プルーフの作成 49
版の作成 50
ジョブの監視 51
Prinergy Direct システムでのファイルの管理 58

Prinergy Direct でのジョブの実行

この章では、Prinergy Direct でジョブを実行するための基本的な手順について説明します。

ジョブを実行するには、以下の手順が必要です。

- ホット フォルダにジョブ データをドロップする
- 出力プロセスを選択する (つまり、ホット フォルダにジョブ データをドロップした際に出力を作成しなかった場合は、プルーフと版を作成します)
- ジョブ プロセスを監視する
- Prinergy システムでファイルを管理する

注意: ワークフローには、オプションの追加手順が含まれることがあります。詳細については、第 4 章「ジョブの実行: 追加手順」を参照してください。

ジョブの実行方法は、ワークフローによって異なります。実行可能なワークフローはたくさんあります。たとえば図 36 には、版がインポート .zip ファイルから直接作成されるリモート刷版のワークフローが示されています。

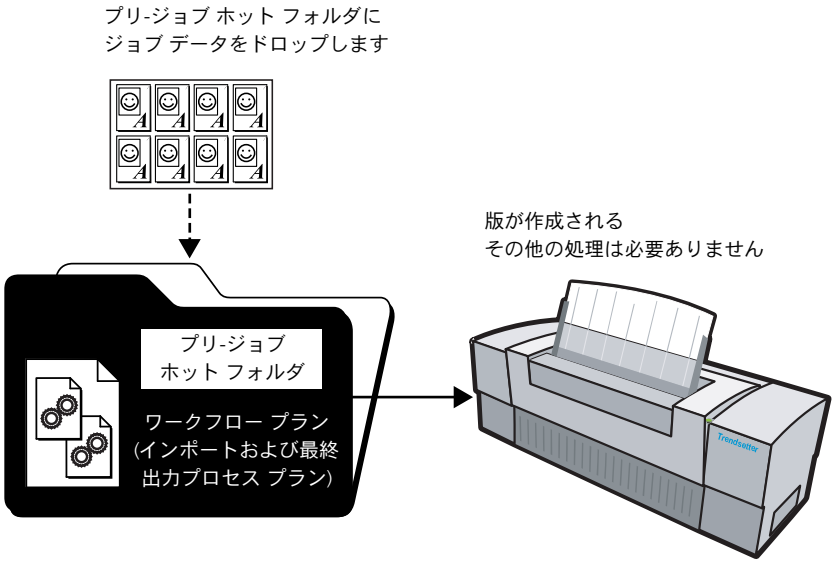


図 36: ワークフローの例: リモート刷版 — 版に直接

図 37 は面付け前のジョブ データがリファインされ、版が作成される前にプルーフが作成されるワークフローを示しています。

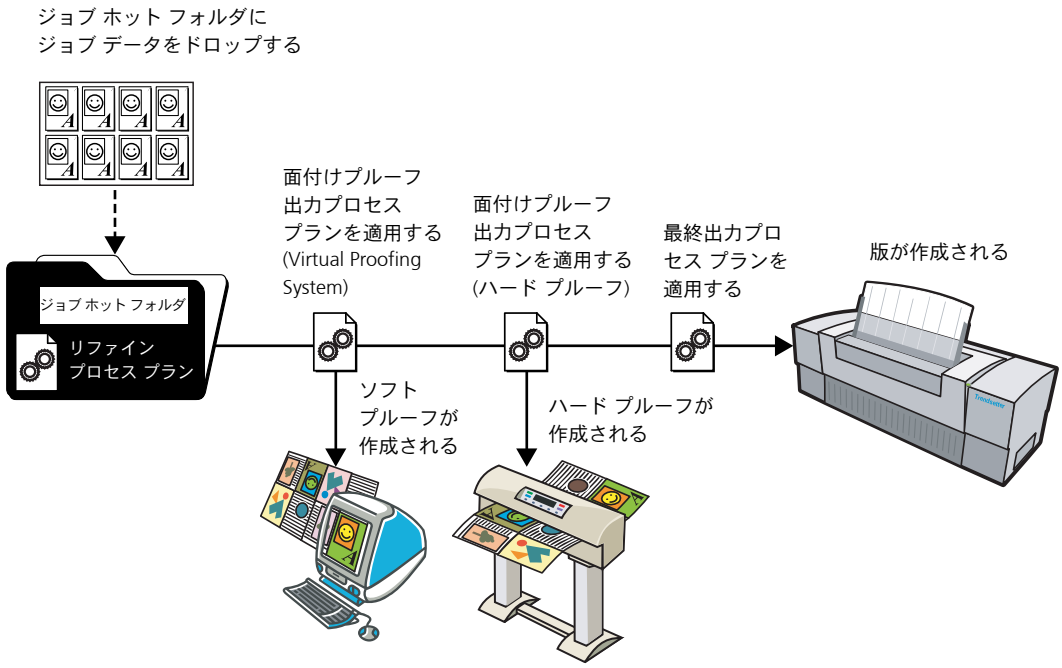


図 37: ワークフローの例: 面付け前のフラット — Virtual Proofing System のプルーフ、面付けプルーフ、および版の作成

ジョブ データの追加

ジョブ データ ファイルは、ジョブやプリ-ジョブのコンテンツを提供します。Prinergy Direct では、ジョブやプリ-ジョブのために設定したホットフォルダにジョブ データをドラッグ アンド ドロップして、ジョブやプリ-ジョブに追加できます。

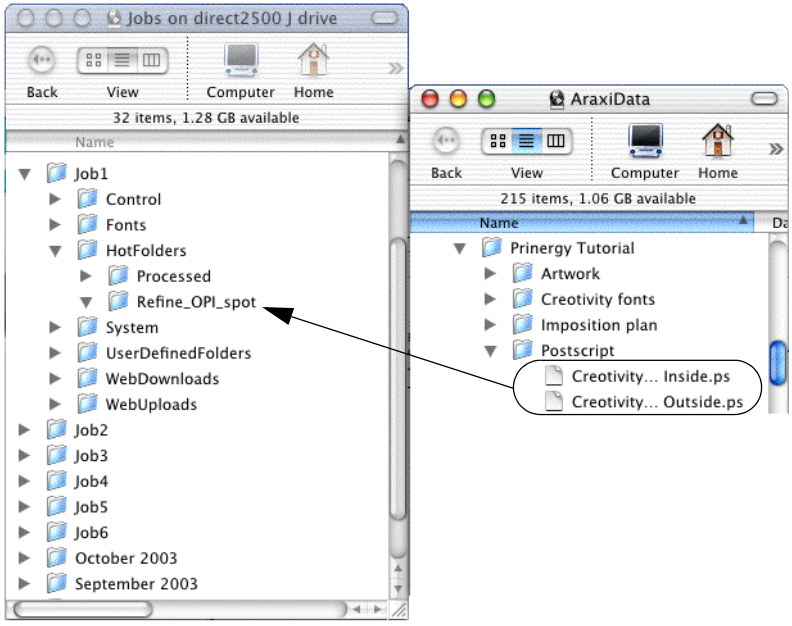


図 38: ホット フォルダへのジョブ データの送信

ジョブの処理とホットフォルダ

ホット フォルダにジョブ データをドロップした後の処理は、ホット フォルダに割り当てられたプロセス プランまたはワークフロー プランによって異なります。

ホット フォルダ プロセス プランでは、ジョブ データのインポートまたはリファインができます。

ホット フォルダ ワークフローでは以下を実行できます。

- ジョブ データをインポートし、面付け出力プルーフ (ソフト プルーフまたはハード プルーフ) を作成する
- ジョブ データをインポートし、版またはフィルムを作成する

  または

- ジョブ データをリファインし、面付け出力プルーフ (ソフト プルーフまたはハード プルーフ) を作成する
- ジョブ データをリファインし、版またはフィルムを作成する

たとえば、送信したデータだけをリファインできます。また、ワークフローをさらに自動化する方法を選択して、最終出力である版をホット フォルダから作成できます。

ジョブ データをホット フォルダに送信した後のジョブ処理がワークフローに含まれる場合、つまりプルーフおよび版をまだ作成する必要がある場合は、後続のジョブ プロセスを完了するために [ジョブ マネージャ] の [色版] 表示を使用します。

プルーフおよび版の作成の詳細については、49 ページの「プルーフの作成」と 50 ページの「版の作成」を参照してください。

ジョブ データのインポート

Prinergy Connect または Prinergy Powerpack からジョブ データをインポートする場合は、ワークフローのインポート プロセス プランを含むインポート プロセス プランまたはワークフロー プランを使用する必要があります。

ジョブのインポート機能を使用すると、ジョブのすべてまたは一部が Prinergy Direct に取り込まれます。

インポート プロセス プランまたはワークフロー プランは、プリ-ジョブのホット フォルダに割り当てられます。ホット フォルダに圧縮ファイル (.zip ファイル) をドロップすると、Prinergy によりエクスポートされたジョブ データが解凍され、新規ジョブが自動的に作成されて、新規ジョブにエクスポートされた

ジョブ コンテンツが反映されます。新規ジョブ名は、エクスポートされた圧縮ファイル (.zip ファイルの名前から拡張子を除いたもの) と同名です。[ジョブ ファインダ] の [ジョブ] 表示および、お持ちの Macintosh または Windows のコンピュータの [ジョブ] フォルダで新規ジョブを表示できます。

ジョブの追加部分をインポートするには、同じインポート プロセス プランまたはワークフロー プラン (インポート プロセス プランを含む) が割り当てられた同じプリ-ジョブ ホット フォルダに、他の圧縮ファイル (zip 拡張子) をドロップします。



重要: ジョブの追加部分を含む圧縮ファイルは、そのジョブ用の最初の圧縮ファイルと同じ名前でなければなりません。そうでない場合は、Prinergy で新規圧縮ファイルと同じ名前の新規ジョブが作成されます。

ジョブの追加部分がインポートされる場合、Prinergy ではエクスポートされたジョブ データが解凍され、解凍、エクスポートされたジョブ コンテンツがジョブに反映されます。Prinergy では、ジョブにすでに存在するコンテンツは上書きされません。

インポート プロセス プランの詳細については、22 ページの「インポート プロセス プラン」を参照してください。

ジョブ データのリファイン

ジョブ データをジョブに追加すると、リファインする必要があります。

送信されたジョブ データは、リファイン プロセスによって、プルーフ、版、またはフィルムに対して準備されます。PDF 以外のファイル形式 (例: PostScript、EPS、DCS) を Prinergy Direct に送信した場合でも、それらの形式はリファイン プロセスによって PDF に変換されます。

ファイルをリファインするには、リファイン プロセス プランまたはリファイン プロセス プランを含むワークフロー プロセス プランをホット フォルダに割り当てます。ジョブ データをホット フォルダに送信すると、リファインされます。ジョブ データがリファインされると、プルーフと版を作成する準備ができます。



注意: 他の Prinergy システムからジョブ データをインポートする場合、ジョブ データをリファインする必要はありません。ジョブ データは、データをエクスポートした Prinergy Connect または Prinergy Powerpack システムでリファインされます。

リファイン プロセス プランの詳細については、23 ページの「リファイン プロセス プラン」を参照してください。

プルーフの作成

ジョブ データがリファインされると、プルーフを作成することができます。プルーフを作成するためのパラメータは、面付けプルーフ出力プロセス プランで設定されます。ソフトおよびハード プルーフを作成するには、面付けプルーフ出力プロセス プランを使用します。

面付けプルーフ出力プロセス プランの詳細については、28 ページの「面付けプルーフ出力プロセス プラン」を参照してください。

プルーフを作成するには、[ジョブ マネージャ] の [色版] 表示から、プルーフする面を選択します。次に、[ユーザー ツールバー] または [ジョブ ツールバー] で、使用する面付けプルーフ出力プロセス プランの横のアイコンをクリックするか、[出力] メニューからプロセス プランを選択します。

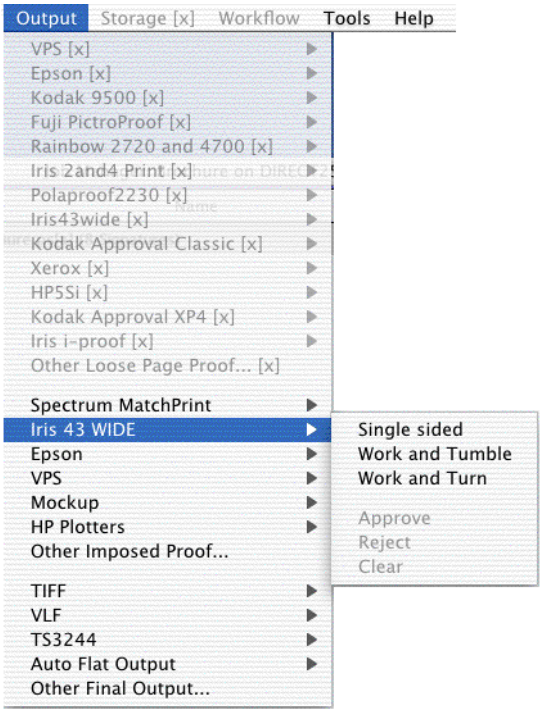


図 39: [出力] メニュー ([ジョブ マネージャ] の [色版] 表示)

面付けプルーフ出力プロセス プランは、以下を作成する場合に使用します。

- ソフト プルーフ (Virtual Proofing System ソフトウェアを使用)



Virtual Proofing System についての詳細は、『Virtual Proofing System ユーザー ガイド』または『PC 用 Virtual Proofing System ユーザー ガイド』を参照してください。

- 面付けされたプルーフ (Epson や Iris 43 Wide などのカラー プルーフ デバイスを使用)
- コントラクト プルーフ (Trendsetter Spectrum などの出力デバイスを使用)
- TIFF ファイル (G4 圧縮)

作成するプルーフのタイプのための適当な面付けプルーフ出力プロセス プランを選択します。

プルーフの承認

Prinergy では、プルーフの承認または拒否を記録できます。承認ステータス アイコンは、[ジョブ マネージャ] が [色版] 表示の場合に表示されます。

[ジョブ マネージャ] でプルーフの承認または拒否を記録するには、[色版] 表示から、プルーフした要素を選択します。次に、[出力] メニューから、作成したプルーフのタイプにポインタを置き、サブメニューから承認ステータスを選択します。

版の作成

版またはフィルムを作成するには、最終出力プロセス プランを使用します。[ジョブ マネージャ] で版を作成するには、[色版] 表示から、プルーフする面を選択します。次に、[ユーザー ツールバー] または [ジョブ ツールバー] で、使用する最終出力プロセス プランの横のアイコンをクリックするか、[出力] メニューからプロセス プランを選択します。



注意: 版を作成する前に、印刷コンソールで版のサイズを設定する必要があります。版サイズの設定の詳細については、Print Console のマニュアルを参照してください。



ヒント: 版またはフィルムを作成する前に、面付けプルーフを準備し、すべてのプルーフを承認することを勧めます。

ジョブの監視

Prinergy でワークフローが自動化されるので、ジョブ処理の監視は Prinergy Direct を使用する上で重要なことの 1 つです。ジョブの状況は、ワークフローの複数の部分で監視できます。表 3 に、ジョブを監視するための場所を示します。

表 3: ジョブの監視

監視対象	監視する場所	詳細は、以下を参照してください
現在のジョブ活動に関する基本情報	[ジョブ マネージャ] の [アクティブなプロセス] ペイン	52 ページ
アクティブなプロセスに関する詳細	[プロセス情報] ダイアログ ボックス	55 ページ
ジョブ キューのステータス	[キュー マネージャ]	57 ページ
ジョブに対する以前の活動すべての詳細	[ジョブ マネージャ] の [履歴] 表示	56 ページ

アクティブなプロセスのチェック

アクティブなプロセスは、[ジョブ マネージャ] の [アクティブなプロセス] ペインに表示されます。[アクティブなプロセス] ペインは、ジョブに対してアクティブな各プロセスのアイコン群を表示します。このペインから処理を停止することができます。

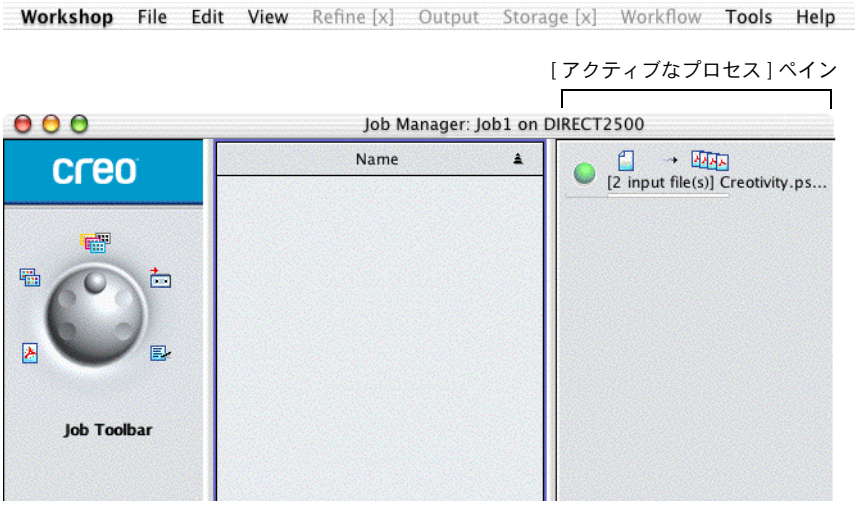


図 40: [ジョブ マネージャ] の [アクティブなプロセス] ペイン

表 4 および表 5 では、活動ステータスと状況ステータスを示し、その意味を説明します。

表 4: 活動ステータス アイコン

アイコン	プロセス	意味
	キューに置かれている	プロセスがキューに置かれています。このアイコンは動的な列には表示されません。 プロセスに現在アクティブなコンポーネントプロセスがない場合、プロセスはアクティブになった後、キューの状態に戻ります。
	アクティブ	プロセスはアクティブです。
	一時停止	ユーザーの要請により、プロセスが一時停止しました このアイコンは動的な項目には表示されません。
	終了	プロセスが完了しました。

表 5: 状況ステータス アイコン

アイコン	状況	意味
	ヌル	プロセスは存在しますが、まだ始まっていません。現在の状況ステータスなし。
	キューに置かれている	プロセスはキューに置かれています。
 (緑)	OK	プロセスは正常に続行しています。
 (灰色)	終了 - OK	プロセスは完了しました。
	ユーザー待ち	システムはユーザー介入を待っています。
	システム待ち	システムはシステム リソースを待っています。たとえば、アーカイブまたは取得プロセスは、テープまたはドライブを待っています。

アイコン	状況	意味
 (黄色)	警告	システムにより警告メッセージが送信されました。
 (赤)	エラー	システムでエラー メッセージが出されたか、もしくは、ユーザーの要求によりプロセスが停止されました。
活動プロセスとサブタスク手順の後ろの濃い灰色の背景		以前アクティブであったにもかかわらず、プロセスまたは手順が 60 秒間まったく進んでいない場合には、濃い灰色の背景が、プロセスやサブタスクの後ろに表示されます。 プロセスまたはサブタスク手順のトラブルシューティングを始める必要があります。[キュー マネージャ] またはサーバーをチェックしてください。 背景には 3 段階の濃さがあり、非活動が 60 秒間、120 秒間、そして 180秒間つづくと濃くなっていきます。 [アクティブなプロセス] ペインでは、プロセス内で最も停滞しているサブタスクの停滞レベルを示します。 [プロセス情報] ダイアログ ボックスには、サブタスク手順の停滞が表示されます。

プロセス情報のチェック

プロセスの詳細を表示するには、[アクティブなプロセス] ペインのアイコンをダブルクリックします。



図 41: [アクティブなプロセス] ペインのアイコン

[プロセス情報] ダイアログ ボックスが表示されます。

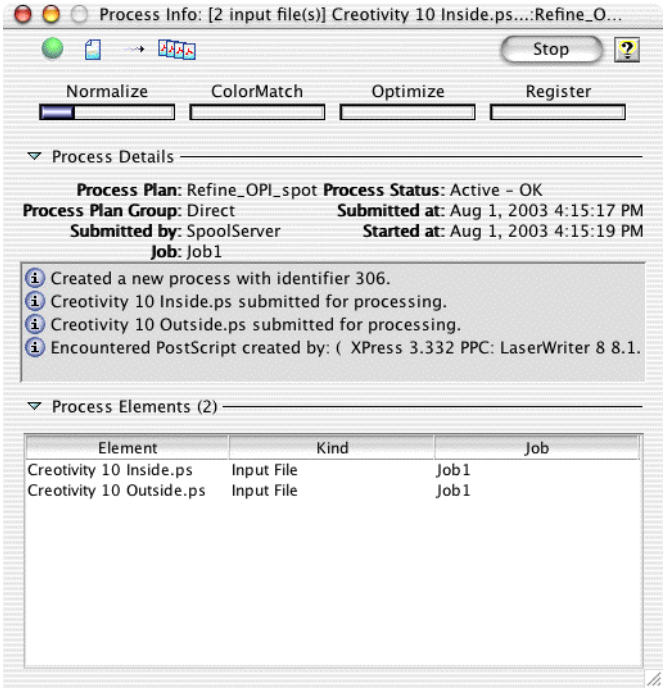


図 42: プロセス情報ダイアログ ボックス

[プロセス情報] ダイアログ ボックスの [プロセス詳細] セクションには、ワークフロー プロセスの進行状況に関する詳細情報が表示されます。Prinergy がプロセスを完了した後、[ジョブ マネージャ] の [履歴] 表示でこれらの詳細が表示されます。詳細については、56 ページの「ジョブ履歴のチェック」を参照してください。

ジョブ履歴のチェック

ジョブの履歴をチェックするには、[ジョブ マネージャ] の [履歴] 表示を使用します。[履歴] 表示では、ジョブで行われた各操作の説明、その時点でログインしていたユーザーの名前、および日付と時刻が表示されます。

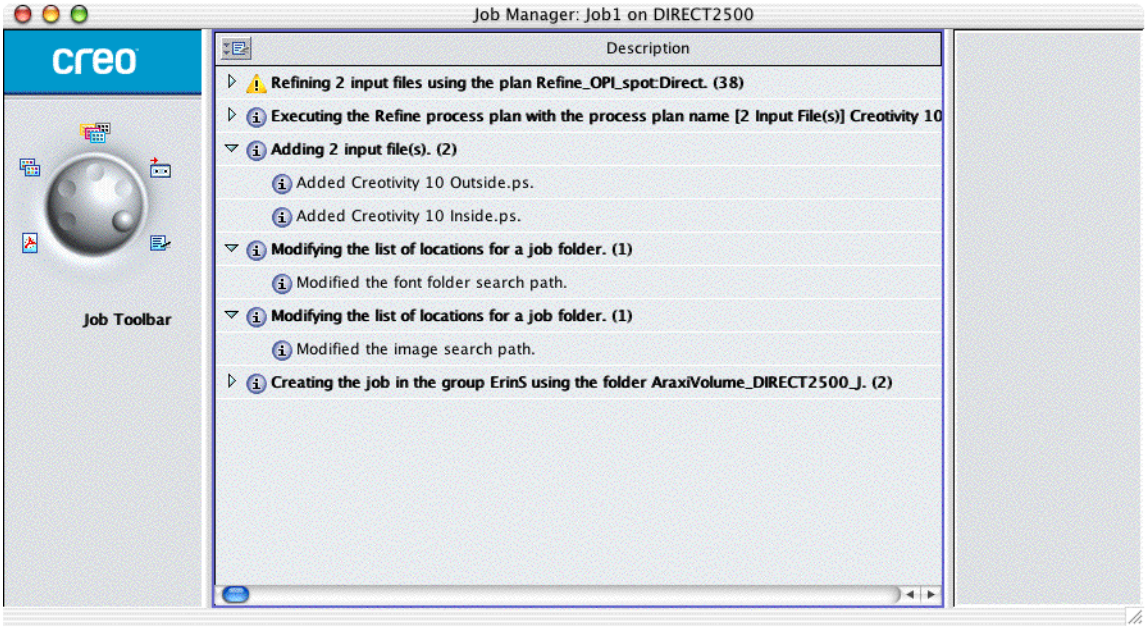


図 43: [ジョブ マネージャ] の [履歴] 表示

システム履歴のチェック

選択した期間のジョブ システム履歴メッセージをチェックするには、[ジョブ マネージャ] の [システム履歴] メニュー オプションを使用します。メッセージには次のものが含まれます。

- ジョブ コンテキスト外で発生した、ジョブおよびグループの作成と破棄、およびジョブの移動などの活動
- たとえば、アーカイブ、パージ、および取得などのジョブ コンテキスト内で起こる活動 (アーカイブが付与されている場合)

  これによって、各ジョブを開く必要なく複数のアーカイブ、パージおよび取得の結果をチェックできます。たとえば、多くのアーカイブ ジョブが夜通しで実行するためにキューに置かれ、翌朝にジョブの結果をチェックする場合に、役立ちます。

Job Queue のチェック

プロセスを表示して管理するには、キュー マネージャを使用します。[キュー マネージャ] では、以下のことが可能です。

- プロセスの一覧を表示する
- プロセスを一時停止、再開、開始、または停止する
- プロセスの優先度を変更または設定する

キュー マネージャでは、以下のいずれかでプロセスを表示できます。

- JTP
- プロセス タイプ

[JTP キュー] 表示と [プロセス タイプ] 表示を切り替えるには、[キュー マネージャ] の [選択用ホイール] を使用します。図 44 に、[プロセス タイプ] 表示を示します。

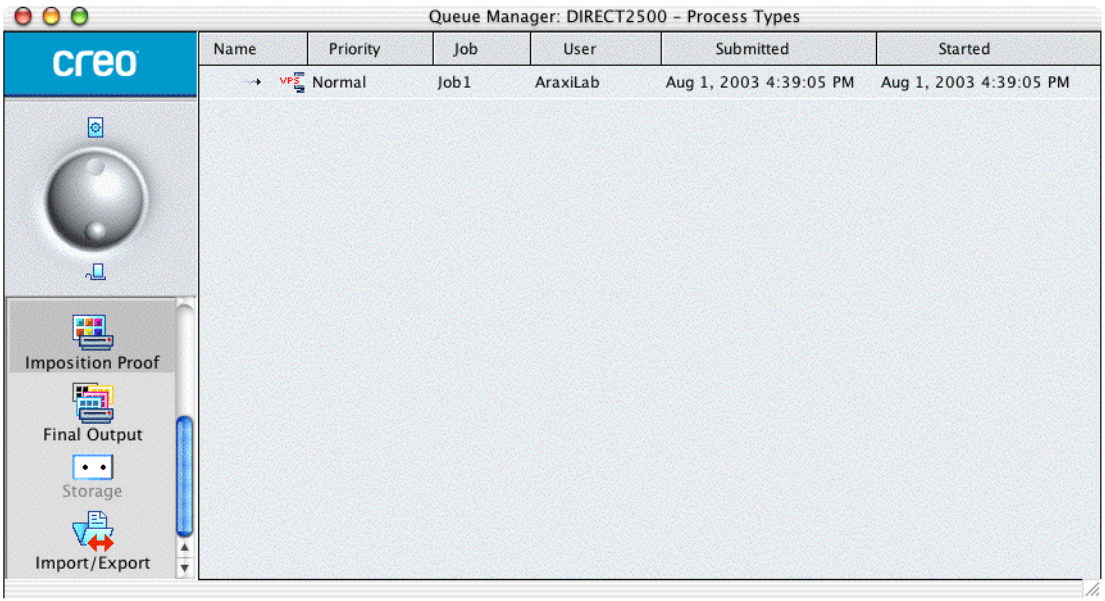


図 44: [キュー マネージャ] の [プロセス タイプ] 表示

Prinergy Direct システムでのファイルの管理

ジョブが完了した後は、オリジナルのジョブ データ ファイルを含むすべてのジョブ要素を削除または破棄できます。また、ジョブもしくはプリ-ジョブがもはや必要ない場合は、それらすべてを廃棄することができます。

アーカイブが許可されている場合、Prinergy システムでジョブをアーカイブ、パージ、および取得することができます。これは、今後ジョブを再度使用する必要がある場合、役立ちます。

ジョブの破棄



重要: ジョブは、再度使用する必要がない場合にのみ破棄します。

ジョブを破棄すると、ジョブはシステムおよびデータベースから完全に削除され、再度読み込むことはできなくなります。もう一度ジョブを印刷する必要があると考えられ、アーカイブ オプションが許可されている場合は、代わりにジョブをアーカイブしてパージします。

ジョブを破棄するには、[ジョブ ファインダ] で [ファイル] メニューから [ジョブの破棄] を選択します。



注意: 入力ファイルが [Job] フォルダにある場合、[Job] フォルダの他のファイルと共に破棄されます。そうでない場合は、破棄されません。

グループの破棄

必要がなくなった場合、グループを破棄できます。たとえば、Magazine X を印刷していて、それが廃刊になれば、Magazine X グループを破棄する可能性があります。Magazine X グループを破棄するには、グループにジョブがないことを確認する必要があります。

ジョブを破棄するには、[ジョブ ファインダ] で [ファイル] メニューから [ジョブの破棄] を選択します。

面付けの破棄



重要: オリジナルのジョブ データ ファイルを含む面付けに関する要素がすべて必要なくなった場合にだけ、面付けを破棄します。

面付けの破棄を行うと、オリジナルのジョブ データ ファイルを含むジョブ ファイルに関連しているすべての要素をシステムから削除します。面付けを破棄すると、この情報を取得することはできません。

面付けを破棄するには、[ジョブ マネージャ] の [色版] 表示で、[ファイル] メニューから [面付け破棄] を選択します。

面付けの削除



重要: ジョブ ファイルに関連した要素をもう必要としない場合にだけ、面付けを削除できます。

面付けを削除すると、オリジナル ジョブ データ ファイルを除くジョブに関連したすべてのファイルを削除します。

面付けを破棄するには、[ジョブ マネージャ] の [色版] 表示で、[ファイル] メニューから [面付け削除] を選択します。

ジョブのアーカイブ

アーカイブが許可されている場合にのみ、ジョブをアーカイブできます。

ジョブをアーカイブすると、個別の保存デバイスに保存します。通常、印刷した後に、ジョブをアーカイブします。Prinergy Direct では、段階的なアーカイブ作成はできません。つまり、ジョブのアーカイブ部分が部分的に完了していて、ジョブが完了するとジョブの残りをアーカイブすることです。

ジョブは、1 度に最高 10 個までアーカイブできます。アーカイブするには、[ジョブ ファインダ] でジョブを選択し、次に [保存] メニューから [アーカイブ] を選択します。

ジョブのパージ

アーカイブが許可されている場合にのみ、ジョブをパージできます。

ジョブをアーカイブした後、パージしてアクティブなディスク スペースを解放することができます。Prinergy はジョブの保存場所に関するデータベース情報をアーカイブに維持するため、後で作業をする必要がある場合は、ジョブを読み込むことができます。

ジョブは、1 度に最高 10 個までパージできます。パージするには、[ジョブ ファインダ] でジョブを選択し、次に [保存] メニューから [パージ] を選択します。

ジョブの読み込み

アーカイブが許可されている場合にのみ、ジョブの読み込みができます。

ジョブの読み込みとは、アーカイブしたジョブを再使用のため Prinergy に呼び戻すことです。1 度に最大 10 個のジョブを読み込むことができます。読み込みをするには、[ジョブ ファインダ] で 1 つのジョブを選択し、[保存] メニューから [読み込み] を選択します。

メディアの管理

システムでアーカイブが許可されている場合、[ツール] メニューから [メディア マネージャ] を使用できます。[メディア マネージャ] を使用すると、システムのメディア プールおよびメディアに関する詳細を表示できます。[メディア マネージャ] のメニュー オプションでは、読み込みエラーに対するメディアをチェックして、メディアを終了するように設定し、メディアをコピーできます。

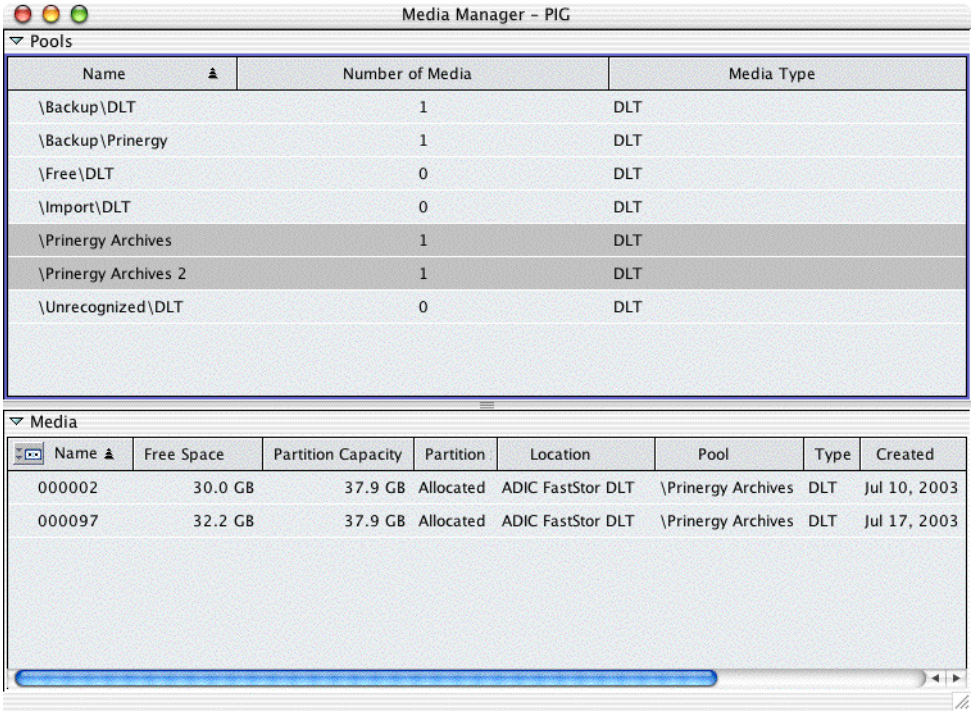


図 45: [メディア マネージャ]

4 ジョブの実行: 追加手順

追加の Workshop 手順 62

OPI 63

色版の管理 64

カラー データベースの使用 71

共通の色版の識別 74

フォント コンバータの使用 75

追加の Workshop 手順

この章では、ジョブを実行する際に必要な追加プロセスを説明します。追加プロセスは以下のとおりです。

- OPI
- カラー分版の管理
- カラー データベースの使用
- 共通の色版の識別
- フォント コンバータの使用

ジョブを実行するプロセスの有無は、特定の ワークフローよって異なります。



注意: この章ではすべてのプロセスを説明しません。共通のオプションのプロセスを例として説明します。

OPI

OPI は、Prinergy の ジョブ データをリファインする場合に利用できます。OPI で、低解像度の高解像度画像を代用する必要がある場合、以下のことを必ず行ってください。

- OPI に切り替え
- 画像検索パスを入力

リファイン プロセス プランの [ノーマライズ] セクションにある [OPI 画像の置換をする] チェック ボックスを選択して、OPI を切り替えます。Prinergy Direct へジョブ データを送信する場合、使用するジョブ ホット フォルダは OPI がオンに切り替えられた状態のリファイン プロセスを含んでいることを確認します。

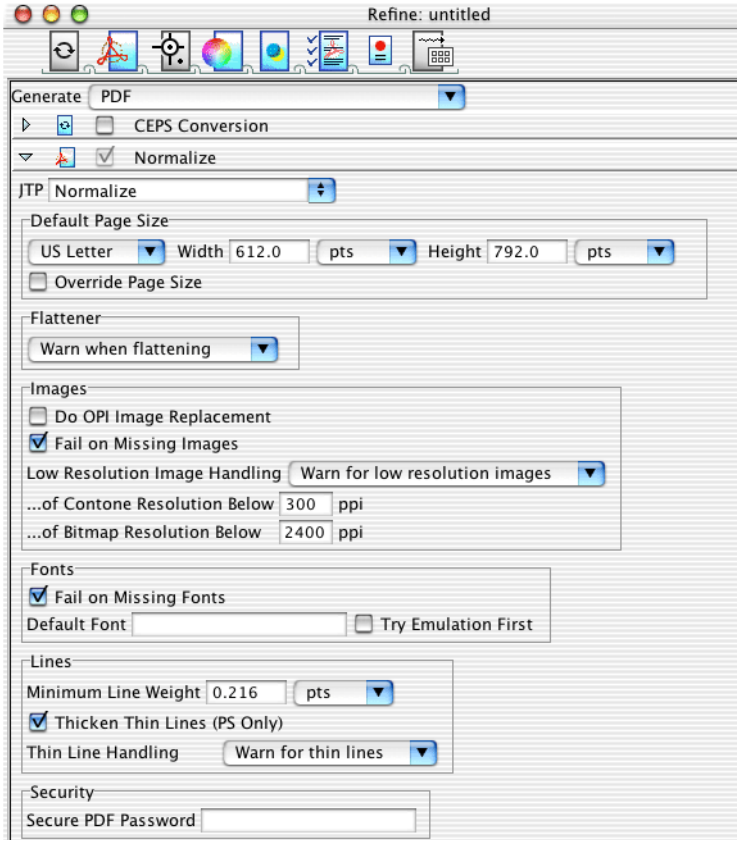


図 46: リファイン プロセス プラン (OPI が有効)

OPI を使用する場合、[ジョブ マネージャ] の [編集] メニューから [画像検索パス] を選択して画像検索パスも設定する必要があります。

色版の管理

色版を使って作業する必要がある場合 (たとえばスポット カラーを処理する)、[ジョブ マネージャ] の [色版] 表示を使用します。

Prinergy Direct では、以下のことが可能です。

- スポット カラーを含むジョブ用の 4 色プルーフ デバイスに正確なプルーフを作成する
- 混色ジョブ データをリファインする場合、スポット カラーをプロセス (CMYK) に変換する
- スポット カラーを異なる出力色版として出力する
- 他のカラーと同じ出力色版にスポット カラーを印刷する
- 色版を印刷されないように抑止する

このセクションでは、Prinergy Direct のカラー分版管理の例を説明します。

例: 4 色プルーフ デバイスにスポット カラーをシミュレートする

ジョブには 6 色、つまり、C、M、Y、および K のプロセス カラーと 2 色のスポット カラーがあります。6 色ジョブの正確なプルーフを作成する場合にも、4 色プルーフ デバイスを使用します。Prinergy のカラー コンバイナはスポット カラーを正確にプルーフにシミュレートします。

プルーフを作成するときカラー コンバイナを使用するには、[レンダー] セクションで選択した [スポットの変換にカラー コンバイナを常に使用] チェック ボックスのある面付けプルーフ出力プロセス プランを必ず使用します。

4 色プルーフ デバイスを使用して、スポット カラーを含むジョブをプルーフする場合は、このチェック ボックスを選択します。

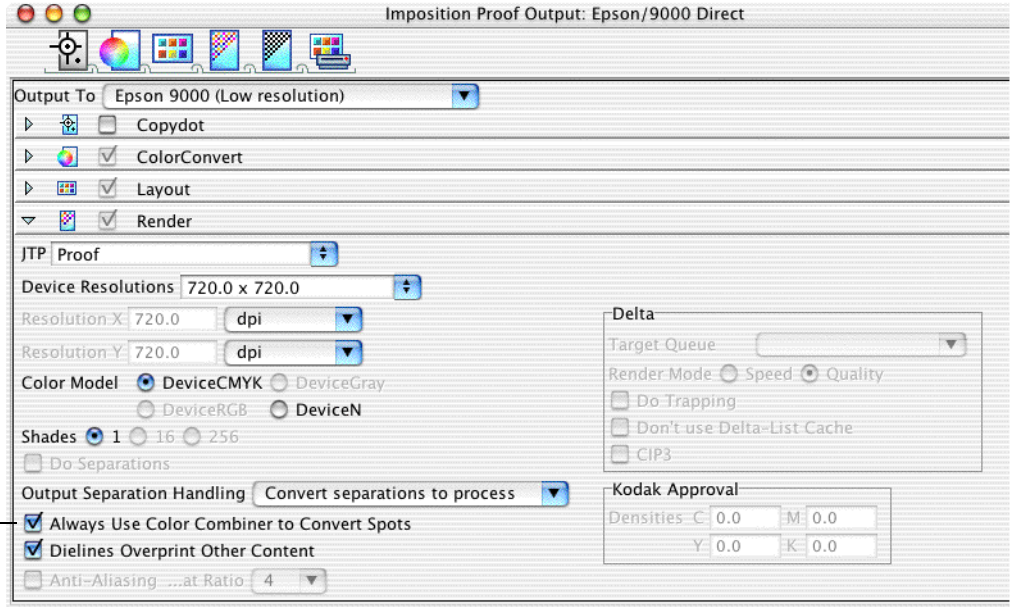


図 47: 面付けプルーフ出力プロセス プラン (レンダー セクション)

例: 個別にスポット カラー分版を出力

6 色ジョブ データ ファイルを Prinergy Direct に送信します。版を作成する場合は 6 色すべてを出力します。つまり、1 つのカラー分版に対して 1 つのプレート、6 つのプレートを作成します。この場合、Prinergy Direct のカラー分版を管理する必要はありません。[ジョブ マネージャ] の [色版] 表示の 6 つすべての色版を選択し、版を作成するために最終出力プロセスを開始します。

注意: Prinergy Direct でジョブ データをリファインする場合は、[カラー コンバート] セクションで選択した [スポット カラーをマップしない] オプションのあるリファイン プロセス プランを使用する必要があります。

例: スポット カラーをプロセスに変換

[Preps]、または [QuarkXPress] のコンポジット PostScript を面付けして、フラットを Prinergy Direct に送信します。ジョブには 6 色、つまり C、M、Y、K の色と 2 色のスポット カラーがあります。ただし、出力するのは、C、M、Y、および K の 4 色のみです。

スポット カラーをプロセス カラーに変換するには、かならず [カラー コンバート] セクションで選択した [すべてのスポット カラーをプロセスにマップする] オプションが存在するリファイン プロセス プランを使用する必要があります。リファイン プロセス プランがこのような設定になっているジョブのホット フォルダにジョブ データをドロップします。

すべてのスポット カラーをプロセスにマップ

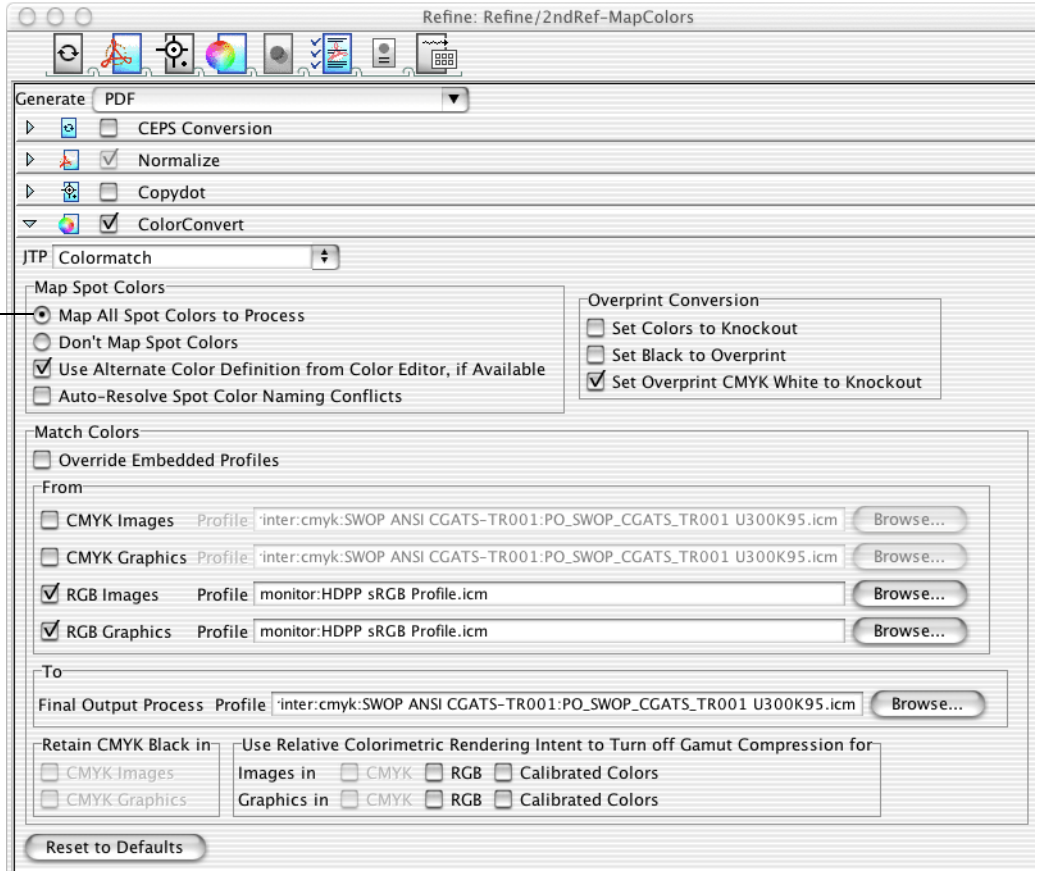


図 48: リファイン プロセス プラン (ColorConvert セクション)

[ジョブ マネージャ] のジョブを開くと、4 つ (C、M、Y、および K) の色版が表示されます。

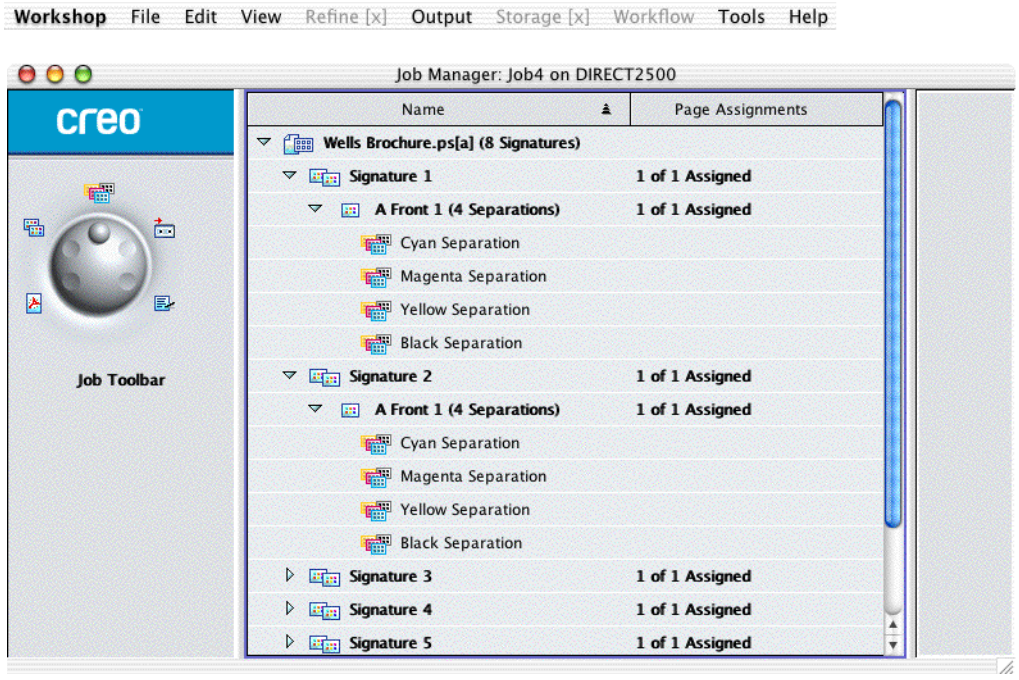


図 49: [ジョブ マネージャ] の [色版] 表示

例: 2 つのスポット カラーを 1 つのカラー分版に出力する

ジョブには、2 つのスポット カラーがあります。両方のスポット カラーを単独のスポット カラー分版に出力する場合、[カラー分版] ダイアログ ボックスの [ページ カラー] 列で、出力しているスポット カラー分版に置換するスポット カラーを検索します。[以下のように選択した出力] ボックスで、出力するスポット カラー色版の名前を選択します。

[ジョブ マネージャ] にある [編集] メニューから [カラー分版] を選択して、[カラー分版] ダイアログ ボックスにアクセスします。

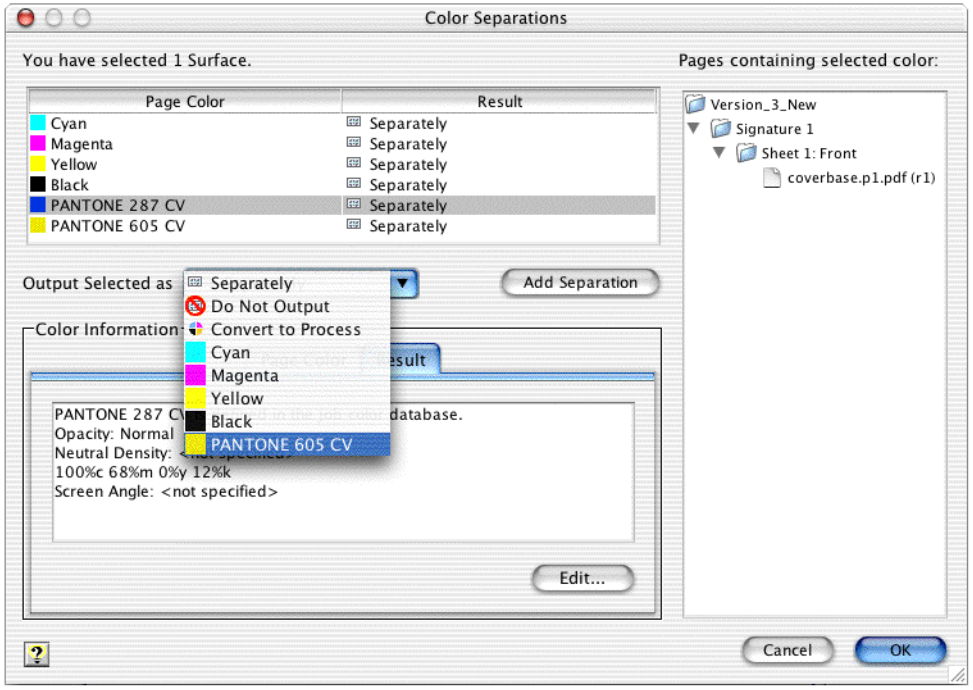


図 50: [カラー分版] ダイアログ ボックス

例: 色版の出力を抑止する

ホット フォルダへ送信するジョブ データにはニスが含まれています。しかし、版を作成する場合は、ニスを出力しません。

ニスの出力を抑止するためには、[カラー分版] ダイアログ ボックスのニスの傍にある [以下のように選択した出力] ボックスの [出力しない] を選択します。

[ジョブ マネージャ] にある [編集] メニューから [カラー分版] を選択して、[カラー分版] ダイアログ ボックスにアクセスします。

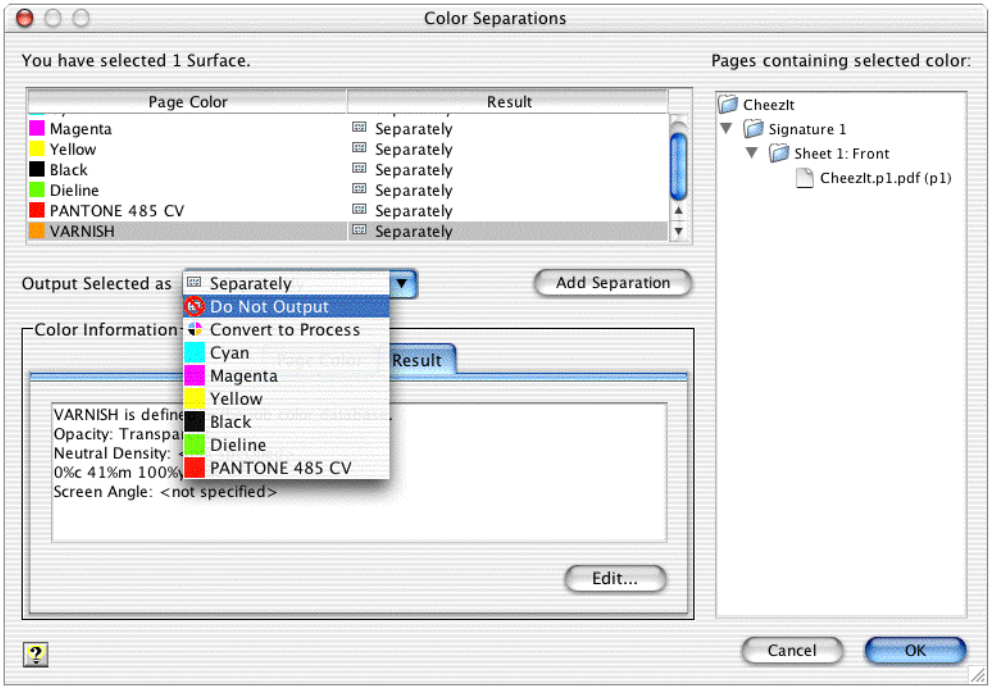


図 51: [カラー分版] ダイアログ ボックス

また、版の作成時に色版の出力を制限する場合は、[ジョブ マネージャ] の [色版] 表示で、出力する色版のみを選択します。つまり、最終出力を作成する場合はニスを選択しないでください。70 ページの図 52 を参照してください。

最終出力プロセスプランを開始するときには、出力する色版のみを選択します。

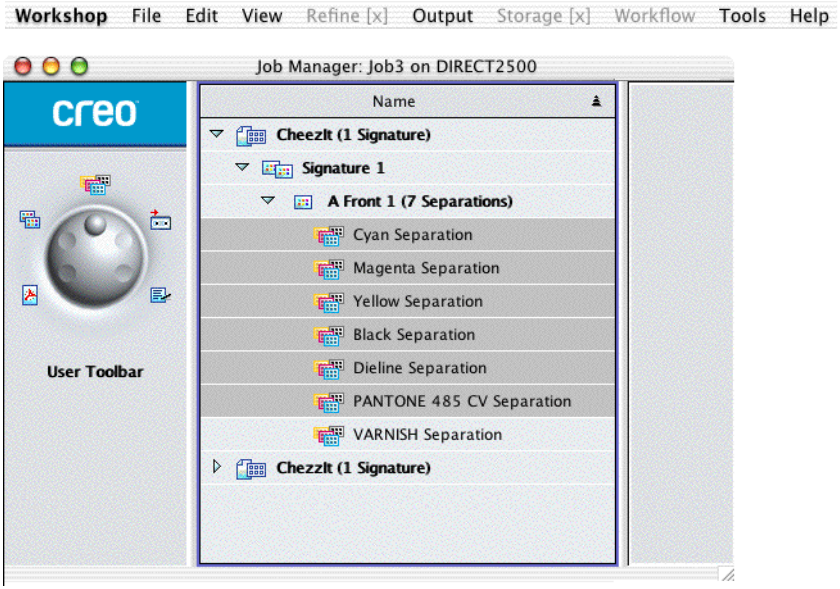


図 52: [ジョブ マネージャ] の [色版] 表示

カラー データベースの使用

Prinergy のカラー データベースには、スポット カラーに関する情報が含まれています。これは代替カラー値、代替カラー スペース名 (RGB、CMYK、または L*a*b*)、およびスクリーニング角度についての情報を保存します。

カラー データベースでは、以下のことが可能です。

- コンポジット PostScript および PDF からのカラー レシピを標準カラー レシピで上書きする
- スポット カラー レシピを含んでいない可能性のある分版された PostScript 用のレシピを提供する

カラー データベース情報は Prinergy システム全体または個別ジョブのために定義することができます。Prinergy がカラー情報を検索する場合、はじめにジョブ単位のカラー データベースを検索し、次にグローバル カラー データベースを検索します。

たとえば、ジョブに設定するスクリーン角度用のスポット カラーがある場合、まず [色版] ダイアログ ボックスのスポット カラーを [ページ カラー] 列で選択し、[編集] をクリックします。

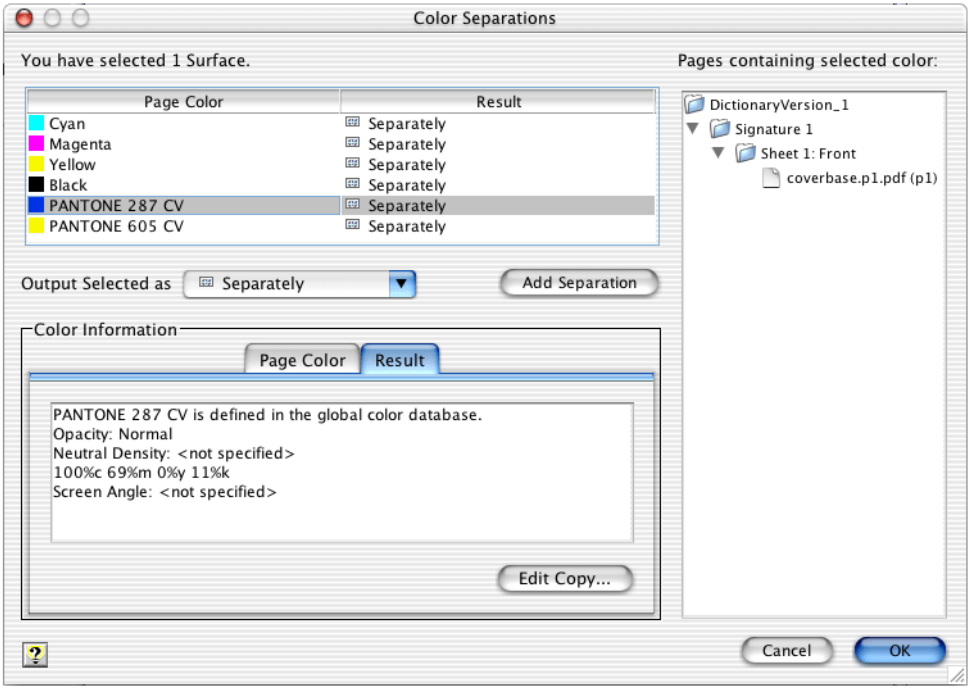


図 53: [カラー分版] ダイアログ ボックス

次に、[カラー エディタ] ダイアログ ボックスでスポット カラー色版用のスクリーン角度を指定します (たとえば、角度 15 度)。

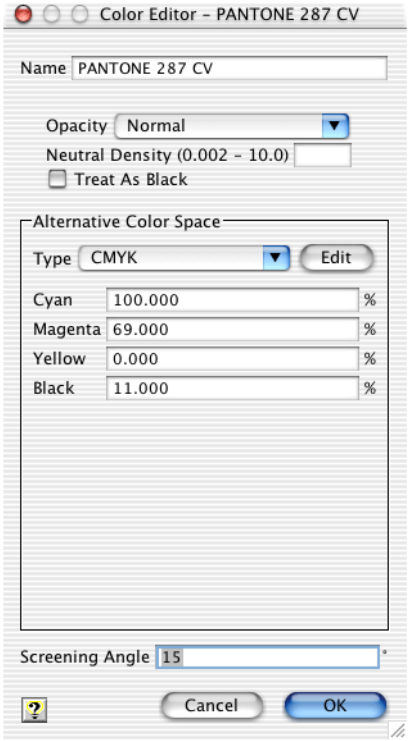


図 54: [カラー エディタ] ダイアログ ボックス

[OK] をクリックすると、Prinergy はスクリーン角度情報をジョブ単位のカラー エディタにコピーします。

設定したスクリーン角度を確認するには、[ツール] メニューから [ジョブ単位のカラー エディタ] を開きます。定義するスクリーン角度は、修正されるまでは常にジョブと共に使用されます。

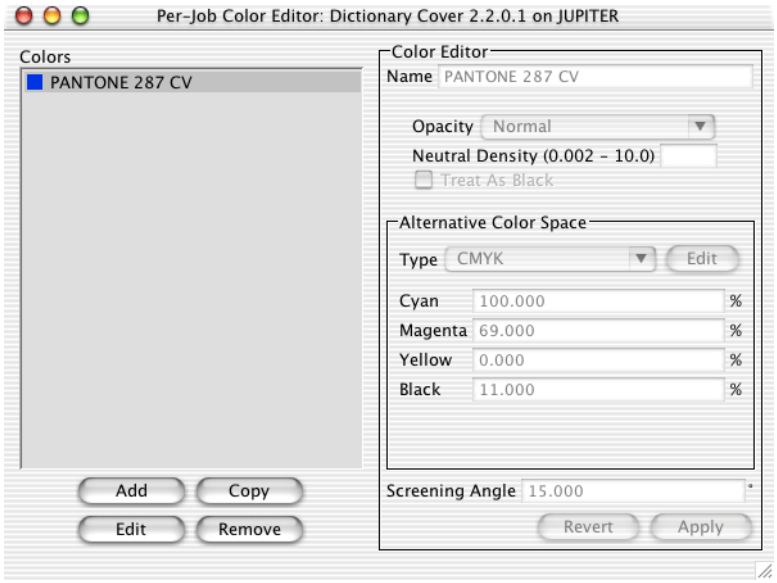


図 55: ジョブ単位のカラー エディタ

また、すべてのジョブに利用可能なスポット カラー スクリーン角度を作成する場合、[グローバル カラー エディタ] にその情報をコピーできます。

カラー情報を [グローバル カラー エディタ] にコピーするには、[ジョブ単位のカラー エディタ] で [ファイル] メニューから [グローバル カラー定義を送信] を選択します。

PANTONE カラー ライブラリ

[PANTONE® カラー ライブラリ] は Prinergy グローバル カラー データベースにあります。ライブラリは、15,571 カラーの PANTONE カラーのカラー定義で構成されています。各 PANTONE カラー には 1 つのレシピのみ備わっています。レシピは CMYK カラー スペースにあります。

注意: グローバル カラー エディタおよびジョブ単位のカラー エディタでは、PANTONE カラーは一覧表示されず、ユーザー定義カラーのみが一覧表示されます。PANTONE スポット カラーでリファイン後、PANTONE カラー定義が [ジョブ マネージャ] を [色版] 表示および [カラー分版] ダイアログ ボックスの [カラー情報] セクションに表示されます。

全体、または各ジョブで、PANTONE カラーの定義を無効にすることができます。PANTONE カラーのユーザー定義バージョンは、「工場設定」バージョンより優先されます。しかし、グローバル カラー データベースにあるバージョンを無効にする場合は、工場設定バージョンがデータベースに残ります。ユーザー定義バージョンを削除する場合は、工場設定バージョンがもう一度表示されます。PANNTONE カラー定義を変更することはできません。

共通の色版の識別

地域バージョンを含む (同じ発行の 1 つ以上のバージョンを含む) 別の Prinergy システムからジョブをインポートする場合は、共通の色版を識別する必要があります。発行されたすべてのバージョンに共通の色版を出力する必要はありません。各バージョンに対する固有の色版を出力する必要はあります。

[共通の色版を識別する] を [ジョブ マネージャ] の [色版] 表示の [編集] メニューから選択し、共通の色版を識別します。

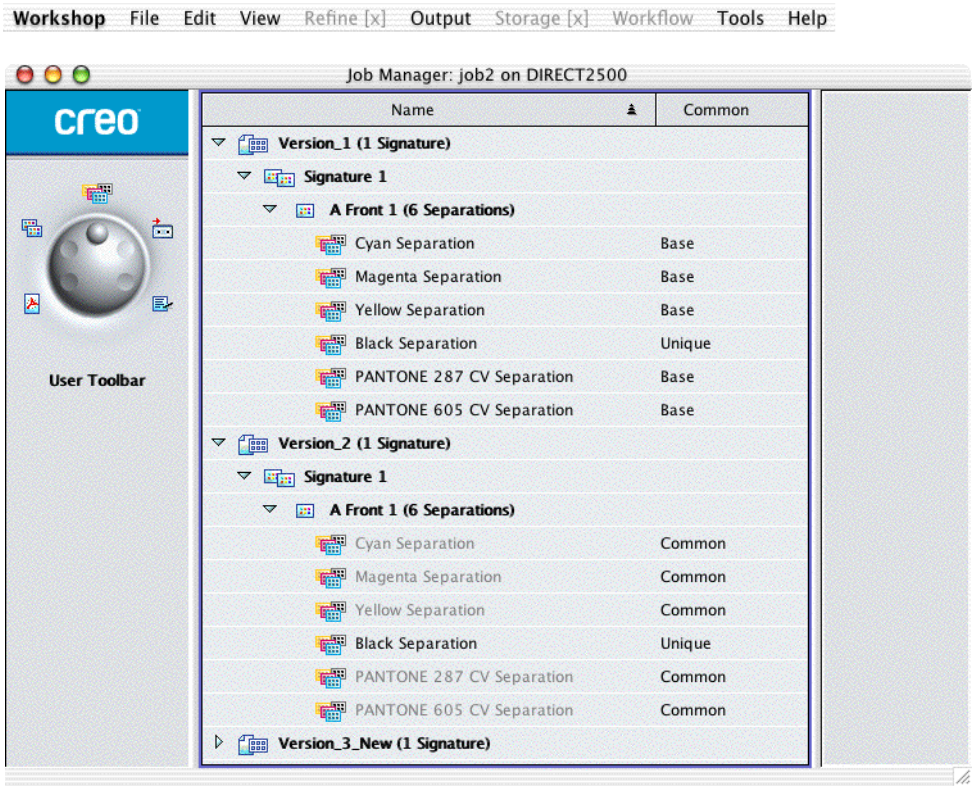


図 56: [ジョブ マネージャ] の [色版] 表示 (共通の色版を識別)

[共通の色版を識別する] を選択する場合は、共通の色版が [ジョブ マネージャ] の [色版] 表示にグレーに表示されます。固有の色版は正常に表示されています (図 56 ブラック色版)。

また、[色版] 表示に [共通] 列を表示することで、共通の色版を識別することができます。[共通の色版の識別] を選択すると、[共通] 列では、各色版が**共通**または**固有**であるかが示されます。この説明については、74 ページの図 56 を参照してください。

フォント コンバータの使用

フォント コンバータは、Prinergy Direct で使用できる PFA (Printer Font ASCII) 形式にフォント ファイルを変換するソフトウェアです。

フォントがジョブ データにすでに埋め込まれている場合、または Prinergy Direct に付属の PAF 形式のベース 193 Adobe フォントのみを参照している場合、Font Converter を使用する必要はありません。

フォントがジョブ データに埋め込まれていない場合は、Normalizer によってリファイン プロセス中にフォントが埋め込まれます。ノーマライザーでは、フォント ベンダが提供する標準形式ではない PFA 形式のフォントを必要とします。Prinergy フォント コンバータで形式を PFA 形式に変換します。

Prinergy の 2 つのフォント コンバータを使用できます。

- グローバル フォント コンバータ
- ジョブ単位のフォント コンバータ

いずれのフォント コンバータも同じように機能しますが、それぞれ変換済みファイルを別々に配置します。[グローバル フォント コンバータ] は 変換済みフォントを Prinergy サーバーに保存し、このフォントはすべてのジョブに利用可能です。[ジョブ単位のフォント コンバータ] は ジョブ フォルダに変換済みフォントを保存し、このフォントは個別のジョブに対してのみ利用可能です。

用語集

Administrator	「Prinergy Administrator」を参照してください。
Adobe Extreme	Prinergy の中心技術の一部を提供する、高性能な印刷生産向けのアーキテクチャ。これには、PDF と Portable Job Ticket Format (PJTF) に対するサポートが含まれ、通信構造が下層にあります。
Extreme	「Adobe Extreme」を参照してください。
ICC (International Color Consortium) プロファイル	異なるプラット フォーム、デバイス、およびアプリケーションを通してカラーを正確に再生するための基準として作用する、カラー スペース記述。
Job Ticket Processor (JTP)	Adobe Extreme のジョブ チケットの処理に必要な手順を実行するソフトウェア。JTP は、Prinergy Administrator を使用して設定します。
OPI	オープン プリプレス インターフェイス (Open Prepress Interface)。低解像度のプレースホルダ画像を高解像度の画像で自動的に置換する PostScript の拡張機能です。Prinergy では、Extreme に付属の Adobe の OPI が使用されます。OPI は、リファイン プロセス プランで適切な OPI オプションを設定することによって、リファイン プロセス中にオプションとして開始できます。
PDF	Portable Document Format。PDF は、LW、画像、およびテキスト (必要なフォントをすべて含みます) を保存するための、信頼できるファイル形式です。PDF ファイルには、画像の解像度や両面印刷オプションなどのデバイス指定の設定は含まれません。
PostScript ファイル	ページ記述言語で書かれ、ネイティブのアプリケーション ファイル (例: QuarkXPress、Adobe Illustrator®) から作成されたファイル。
Prinergy Administrator	(UADM.exe) Prinergy システム管理ユーザー インターフェイスとして機能するソフトウェア。これは、JTP を設定したり、Prinergy サーバーを起動または停止したり、システムを監視するために使用します。Prinergy サーバーの一部としてインストールされ、そのサーバー上で実行されます。これは、Windows 2000 に対してのみ利用可能です。
Prinergy Workshop	Prinergy システムにメイン ユーザー インターフェイスを提供するクライアント ソフトウェア。Prinergy Workshop からは、各ジョブに対するワークフローを管理できます。Prinergy Workshop 内からは、ジョブ ファインダ、ジョブ マネージャ、キュー マネージャ、プロセス プラン エディタ、グローバル フォント コンバータ、ジョブ単位のフォント コンバータ、グローバル カラー エディタ、およびジョブ単位のカラー エディタにアクセスできます。

Prinergy サーバー

Prinergy Server ソフトウェアを実行している Windows 2000 サーバー マシン。これには、Oracle データベースなど、すべての Prinergy Server コンポーネントが含まれます。Prinergy サーバーでは、Prinergy Workshop からの要求をリファインし、データベースを維持します。

Prinergy システム

Prinergy Server ソフトウェアを実行している Windows 2000 サーバー マシン 1 台と、Prinergy Workshop を実行している Macintosh、Windows 2000、または Windows NT ワークステーション (クライアント コンピュータ) 1 台が最低でも含まれている、ネットワーク化されたコンピュータのシステム。Prinergy Direct システムには、追加のクライアント マシンを含むことができます。

Prinergy ワークステーション

Prinergy Workshop を実行しているコンピュータで、Prinergy Server コンポーネントは実行されません。これは、クライアント マシンとも呼ばれます。Prinergy ワークステーションは、Windows 2000/Windows NT コンピュータ、または Macintosh コンピュータです。

PrintLink

プリプレス段階でデジタル インク プロファイルを自動的に生成し、精密にインク キーするためにプレス インターフェイスに情報を送信するソフトウェア。PrintLink では、色版のインク カバレッジの領域を一覧表示するインク レポートを印刷できます。

PrintLink は、Prinergy Direct でライセンスを受け取ることのできるオプションです。

RIP

Raster Image Processor。PostScript データをラスタ (ビットマップ) データに変換するソフトウェア。PDF ワークフローは Prinergy に適用されると、2 相 RIP プロセスを促進します。解釈とレンダリング解釈は、ジョブ データが PDF に対してノーマライズされるときにリファイン プロセスの一部として実行されます。PDF ファイルをラスタ データに変換するレンダーは、出力プロセスの一部として実行されます。

Workshop

「Prinergy Workshop」を参照してください。

アーカイブ (noun)

1 台または複数のマシンで複数のファイル システムにまたがっている潜在的に永久なレコードまたは関連ファイルのセット。この場合はジョブ。

アーカイブ (verb)

恒久的に保存するために、ジョブまたは関連ファイルを用紙に書き込むこと。ファイルはコンテキストに保存されますが、ジョブ データは Prinergy データベースで維持されるため、システムからジョブを取得することが可能です。「取得」および「パージ」を参照してください。

Prinergy Direct で使用するには、アーカイブのライセンスが与えられている必要があります。

オプティマイズ

「画像のオプティマイズ」を参照してください。

画像のオプティマイズ
リファイン プロセスのノーマライズ手順のオプションで、ダウンサンプルしてジョブ データの画像のサイズを縮小します。

カラー マッチ
1 つのカラー スペースを別のカラー スペースに変換する場合、たとえば、RGB から CMYK に変換する場合に、カラーの整合性を保つこと。Prinergy では、デバイスから独立したカラー スペースである L*a*b* にマップするために、ICC (International Color Consortium) プロファイルを使用します。ICC ターゲットは、出力に対する準備がファイルで完了している場合にデバイス スペースにマップするために使用されます。これによって、カラー モデルと出力デバイス間でカラーの一貫性が維持されます。

キュー マネージャ
キューに置かれたプロセスや、アクティブなプロセスを、表示したり管理するために使用する Prinergy Workshop ウィンドウ。

クライアント マシン
「Prinergy ワークステーション」を参照してください。

グループ
グループは、ジョブおよびプリ-ジョブを組織化するために使用されます。グループはフォルダに似ていますが、デスクトップ (Macintosh) やエクスプローラ (Windows) からは検索できません。グループは Prinergy 内部のデータ構造の一部で、Prinergy サーバーのデータベース内で管理されます。

グローバル カラー エディタ
カラー データベースにグローバル エントリを追加し、維持できるようにする Prinergy ソフトウェア。

グローバル フォント コンバータ
PFA (Printer Font ASCII) 形式にフォント ファイルを変換する Prinergy ソフトウェア。ジョブ単位のフォント コンバータを使用して変換されたフォントは、ジョブの [System\Font] フォルダに保存されます。これらのフォントは、現在のジョブによってのみ使用されます。

サーバー マシン
ネットワーク経由で接続されているほかのコンピュータに対して特定のサービスを提供するコンピュータ。Prinergy Direct では、サーバーは 1 台しか存在しません。

システム
「Prinergy システム」を参照してください。

取得
メディアに以前アーカイブされた Prinergy システム ファイルを取り戻すこと。Prinergy では、取得の指示は取得プロセス プランで設定されます。「アーカイブ (noun)」および「パージ」を参照してください。

Prinergy Direct では、アーカイブのライセンスが与えられている場合にのみジョブを取得できます。

ジョブ
作業を整理するために使用される単位。通常ジョブは、特定の出版のコンポーネントすべてに対応しますが、そうでない場合もあります。ジョブを作成すると、Prinergy によってジョブ フォルダと、ジョブを追跡するためのデータベース エントリが作成されます。

ジョブ単位のカラー エディタ カラー データベースにジョブ特有のエントリを追加し、維持するのに役立つ Prinergy ソフトウェア。

ジョブ単位のフォント コンバータ PFA (Printer Font ASCII) 形式にフォント ファイルを変換する Prinergy ソフトウェア。グローバル フォント コンバータで変換されたフォントは Prinergy サーバーに保存され、すべてのジョブに対して利用可能です。

ジョブ チケット Adobe Extreme における、Prinergy で実行しなければならない 1 つまたは複数の処理手順に関連した情報のコレクション。これには、作動する JTP とその順序を指定するマップまたはルートが含まれます。また、処理するファイル、処理オプション、宛先、および面付けプランに関する情報を含むこともできます。

[ジョブ] ツールバー [ジョブ マネージャ] の [選択用ホイール] の下にある部分で、頻繁に使用する面付けプルーフ出力、および最終出力プロセス プラン用のアイコンを表示できます。各ジョブ用に固有の [ジョブ ツールバー] を定義できます。

ジョブ データ ページ コンテンツを含むファイル。ファイルは、QuarkXPress™ ファイルなどの顧客のファイルを PostScript ファイルに印刷して作成します。Prinergy Direct でのジョブ データは、Prinergy Connect システムまたは Prinergy Powerpack システムからエクスポートされた .zip ファイルである場合もあります。

[ジョブ ファインダ] Prinergy Workshop を開くとき、最初に表示されるウィンドウ。[ジョブ ファインダ] は、ジョブおよびプリ-ジョブを作成したり、既存のジョブおよびプリ-ジョブを検索して開いたり、[ツール] メニューから別の Prinergy Workshop ウィンドウにアクセスするために使用します。

ジョブ フォルダ ジョブに対するシステム ファイルをすべて保存する、Prinergy サーバー上のフォルダ (またはディレクトリ)。ジョブ フォルダには、顧客からのジョブ データが含まれる場合もあります。

[ジョブ マネージャ] ワークフローでジョブ管理したり処理するための Prinergy Workshop メイン ウィンドウ。ジョブおよびプリ-ジョブを作成してジョブ データを送信したら、[ジョブ マネージャ] で主に作業することになります。

Prinergy では、ジョブまたはプリ-ジョブを開くと、[ジョブ マネージャ] が自動的に表示されます。

[選択用ホイール] Prinergy ウィンドウで異なる表示を選択するために使用します。

操作 サーバーによって処理されるクライアントからの要求。

ソフト プルーフ Virtual Proofing Software などのソフト プルーフ ソフトウェアを使用してモニタに表示されるプルーフ。

ダウンサンプル

画像の解像度を低くします。解像度が必要以上に高い場合や、解像度をさらに高くしても画質が変わらない場合に、ダウンサンプルはよく行われます。ダウンサンプルを行うと、ファイル サイズが縮小されます。Prinergy では、リファイン プロセスの画像のオプティマイズ中にダウンサンプルが行われます。ダウンサンプルの値は、リファイン プロセス プランの [オプティマイズ] セクションで設定されます。

ノーマライズ

信頼できる PDF ファイルを作成する、リファイン プロセスの手順。ノーマライズ プロセスは、PDF ではないジョブ データ (例: PostScript ファイル、EPS ファイル) を変換します。ノーマライズ プロセスのオプションには、OPI、画像のオプティマイズ、およびフォントの処理が含まれます。

パージ

選択したジョブ ファイルを Prinergy サーバーから削除すること。ただし、ジョブ メタデータは Prinergy データベースで維持されるため、ジョブはシステム内に残ります。パージは、ジョブが正常にアーカイブされた後で行われます。「アーカイブ (noun)」および「取得」を参照してください。

Prinergy Direct では、アーカイブのライセンスが与えられている場合にのみジョブをパージできます。

ハード プルーフ

プルーフ デバイスを使用して作成された、ドキュメントの物理的コピー。

ファイルのオプティマイズ

PDF ファイルのリソースをチェックしてオプティマイズするプロセス。これによって PDF は、予想可能なデジタル マスタを作成するようオプティマイズされます。

フォント コンバータ

「グローバル フォント コン バータ」および「ジョブ単位のフォント コン バータ」を参照してください。

プリ-ジョブ

Prinergy Direct では、Prinergy Connect システムまたは Prinergy Powerpack システムからエクスポートされた .zip ファイルをインポートする場合、プリ-ジョブを使用します。.zip ファイルをプリ-ジョブ ホット フォルダにドロップすると、Prinergy によって新規ジョブが自動的に作成されます。

プロセス

プロセス プランを選択することによって開始される操作。プロセスのタイプには、例えば、インポート、リファイン、面付けプルーフ出力、最終出力などがあります。アーカイブ プロセス、取得プロセス、およびパージ プロセスはオプションです。Prinergy でのその他のすべての処理は操作と呼ばれます。プロセスにはコンテンツ (例: ジョブ データ、PDF 色版) が必要です。「操作」も参照してください。

プロセス プラン

プロセス プランは、Prinergy にプロセスの処理手順を指示するオプションとパラメータの集合体です。設定はすでに定義されているため、プロセス プランを使用すると一貫した結果を得ることができます。Prinergy Direct には以下のタイプのプロセス プランがあります。インポート、リファイン、面付けプルーフ出力、および最終出力。アーカイブのライセンスが付与されている場合は、アーカイブ プロセス プラン、取得プロセス プラン、パージ プロセス プラン、およびアーカイブ メディア コピー プロセス プランも利用可能です。プロセス プランは、プロセス プラン エディタを使用して作成および保存されます。

Prinergy Administrator では、ユーザー権限を設定することによって、ユーザーがプロセス プランおよびワークフロー プランを作成、編集、および削除することを制限できます。

[プロセス プラン エディタ]

プロセス プランを作成、変更、および管理するために使用される Prinergy のツール。

プロセス プラン グループ

プロセス プランを組織化する方法。プロセス プラン グループは、プロセス プラン エディタを使用して作成および維持されます。これらのグループは、プロセス プランとそれに関連する活動をメニューまたはステータス情報列で組織化するために使用されます。

ホット フォルダ

自動操作に対するトリガとして受信ファイルが監視されているファイル フォルダ。ファイルを処理するソフトウェアでは、定期的にフォルダの場所をチェックし、見つかったファイルを自動的に処理します。

Prinergy Direct では、プロセス プランまたはワークフロー プランはホット フォルダに割り当てられます。

ボリューム (Prinergy)

Prinergy サーバー上の共有フォルダ。新規ジョブが作成されたら、Prinergy によって作成されるジョブ フォルダの下にあるボリュームを選択します。

ボリューム (Windows 2000)

ファイル システムが使用するためにフォーマットされた、パーティションまたはパーティションのコレクション。

メディア マネージャ

アーカイブのライセンスが付与されている場合は、[メディア マネージャ] は [ツール] メニューから利用可能です。[メディア マネージャ] では、システムのリムーバブル ストレージ メディアに関する情報が表示されます。[メディア マネージャ] からメディアに関連したタスクも起動できます。

面付け

印刷された用紙が折り込まれた後、正しい順序を保つために印刷用紙の表面と裏面のページ数を配列する方法。

ユーザー ツールバー

[ジョブ マネージャ] の [選択用ホイール] の下にある部分で、頻繁に使用する面付けプルーフ出力、および最終出力プロセス プラン用のアイコンを表示できます。ユーザー ツールバーは各 Prinergy オペレータ用に作成できる場合もあります。

ユーザーの権利

Prinergy Workshop ユーザーがプロセス プランやワークフロー プランを作成、編集、および削除したり、履歴エントリを削除できるかどうかを決定する、Prinergy Administrator 内の設定。

要素

ジョブ内のすべてのアイテム (例: 折丁、ジョブ データ)。

リファイン

ノーマライズ (必須) およびカラー コンバート (オプション) が含まれる可能性のある Prinergy プロセス。ジョブ データは、選択したリファイン プロセス プランで設定されているパラメータに従って、リファイナによって処理されます。

ワークステーション

「Prinergy ワークステーション」を参照してください。

ワークフロー プラン

ワークフローで自動化をさらに提供するために結合されている一連のプロセス プラン (例: リファインおよび面付けプルーフ)。ワークフロー プランを適用すると、Prinergy では、そのワークフロー プランに含まれるすべてのプロセスが、1 つのシームレスな操作で実行されます。このため、オペレータによる入力は必要ありません。

Prinergy Direct では、ワークフロー プランはホット フォルダと共にのみ使用されます (ジョブ データをホット フォルダに送信するとき)。ジョブ データを Prinergy Direct に送信した後で起こるジョブ プロセスを実行するためにワークフロー プランを使用することはできません。

索引

B

BMP 出力ファイル，4

C

CEPS JTP，3
「CMYK」カラー スペース，73
Connect、Prinergy，2

D

DCS ジョブ データ形式，3

E

Epson 5000 出力ファイル，4
Epson 9000 出力ファイル，4
EPS ファイル
　PDF への変換，48
　ジョブ データ形式，3

G

G4 圧縮および TIFF，50

H

Harmony，32
HPRTL 出力ファイル，4

I

ICC プロファイル，26

J

JPEG 出力ファイル，4

K

Kodak Approval
　HPRTL 出力ファイル，4
　TIFF 出力ファイル，4

M

Macintosh コンピュータ，6，28

O

OPI
　および画像検索パス，39
　使用，63
　定義，25

P

PANTONE カラー ライブラリ，73
PostScript
　PDF への変換，48
　ジョブ データ形式，3
Powerpack、Prinergy，2
PPF ファイル、生成，34
Prinergy Connect，8
　ジョブ データのインポート，47
Prinergy Direct
　概念，7
　クライアント，6
　サーバー，6
　システム ハードウェア，5
　説明，2
　ワークフロー設定，14
Prinergy Newsrun，2
Prinergy Powerpack，8
　ジョブ データのインポート，47
Prinergy Publish，2
Prinergy Workshop
　ウィンドウのカスタマイズ，16
　環境設定，11
　起動，10
　クライアント，6
　サーバー バージョンにアップデート，10
　説明，9
　ユーザーの権利の設定，19
Prinergy Workshop 初期設定の設定，11
Prinergy Workshop のカスタマイズ，11
Prinergy Workshop のパーツ，9
Prinergy Workshop へのログオン，10
Prinergy クライアント、サーバー バージョンにアップデート，10
Prinergy サーバー，6
PrintLink，34

R

RGB 画像変換，26

S

Scitex CT 出力ファイル，4

T

TIFF/IT-PI
　ジョブ データ形式，3
TIFF および G4 圧縮，50
TIFF 出力ファイル，4

V

Virtual Proofing System，49
Virtual Proofing System 出力ファイル，4
Virtual Proofing System プルーフ、場所，33

W

Windows 2000，6
Windows NT，6
Workshop ウィンドウのカスタマイズ，16
Workshop 初期設定，11

あ

アーカイブ
　アーカイブ プロセス プラン，35
　取得プロセス プラン，36
　ジョブ，58
　ジョブのパージ，59
　ジョブの読み込み，59
　パージ プロセス プラン，36
アーカイブ プロセス プラン，35
アクティブなプロセス、監視，52
圧縮ファイル
　インポート，47
　ジョブ データ形式，3
　プリ-ジョブ ホット フォルダにドロップする，8

い

イメージ
RGB, 26
ダウンサンプル, 24
置換, 24
リファイン, 27
インク キー プリセット, 34
インク レポート, 34
インポート プロセス プラン, 22

う

ウィンドウ、Workshop のカスタマイズ, 16
埋め込まれたフォント, 75

か

画像検索パス, 39, 63
画像の代用, 39
画像のダウンサンプル, 24
画像の置換, 24
カラー
イメージ, 27
データベース, 71
変換, 26
マッピング, 26, 64
レシピ, 73
カラー コンバート
面付けプルーフ プロセス プランのセクション, 29
リファイン プロセス プランのセクション, 26
カラー スペース
[CMYK], 73
RGB, 26
カラー分版
管理, 64, 68
抑制, 69
カラー マッチング設定, 29
カラー ライブラリ、PANTONE, 73

き

起動
Prinergy Workshop, 10
ジョブの処理, 46
キュー マネージャ
JTP, 57
ジョブ キューのチェック, 57
説明, 9
プロセス タイプ, 57
共通の色版の識別, 74
許可、ユーザー , 8, 19

く

クライアント サーバー アーキテクチャ , 5
クライアント、Prinergy, 6
グループ
作成, 17
説明, 7
破棄, 58
プロセス プラン, 8, 20
グレースケール画像, 27
グローバル カラー エディタ, 71, 73
グローバル フォント コンバータ, 75

け

形式、ジョブ データ, 3
権限、ユーザー , 19
権利、ユーザー , 8, 19

こ

[更新] ボタン, 10
項目、表示, 16
顧客ファイル形式, 3
コピードット
プルーフの作成, 29
リファイン, 25
固有の色版、識別, 74
コンピュータ
Prinergy サーバー , 6
クライアント, 6
コンポジット入力ファイル, 3

さ

サーバー、Prinergy, 6
最終出力のデバイス設定, 34
最終出力プロセス プラン
PrintLink, 34
[PrintLink] セクション, 34
概要, 34
デバイス設定, 34
版の作成, 50
作成
グループ, 17
ジョブ, 17
版, 50
フィルム, 34
プリ-ジョブ, 17
プルーフ, 49
プレート, 34
プロセス プラン, 20, 21
ホット フォルダ, 40
ワークフロー プラン, 21

し

色版
カラーの管理, 64
スポット カラーを個別に出力, 65
[色版] 表示
承認ステータスの表示, 50
版の作成, 50
プルーフの作成, 49
識別、共通の色版, 74
システム アーキテクチャ , 5
システム履歴, 56
自動化, 8, 47
出力
カラー分版, 69
スポット カラー , 68
出力ファイル形式, 4
取得プロセス プラン, 36
初期設定、Prinergy Workshop の設定, 11
ジョブ
アーカイブ, 59
移動, 18
監視, 51
基本的な手順の説明, 44
グループ, 17
グループの破棄, 58
検索, 18
削除, 59
作成, 17
ジョブ データの追加, 46
ジョブ データの破棄, 58
処理, 47
説明, 8
説明した追加手順, 62
選択, 17
名前変更, 18
パージ, 58, 59

破棄, 58
版またはフィルムを作成する, 50
開く, 18
フォルダ, 58
プリ-ジョブから作成, 47
プルーフの作成, 49
ホット フォルダ, 40
面付けの破棄, 58
読み込み, 59
ジョブおよびプリ-ジョブの組織化, 17
ジョブ単位のカラー エディタ, 71, 72
ジョブ単位のフォント コンバータ, 75
[ジョブ] ツールバー , 38
ジョブ データ
形式, 3
送信, 8, 46
追加, 46
破棄, 58
リファイン, 48
ジョブ データのインポート, 47
ジョブ データの送信
ジョブ, 48
プリ-ジョブ, 47
ホット フォルダ, 8
ホット フォルダにドロップ, 46
ジョブの移動, 18
ジョブの監視
アイコン, 53
アクティブなプロセス, 52
概要, 51
ジョブ キューのチェック, 57
ジョブ履歴のチェック, 56
プロセス情報のチェック, 55
ジョブの検索, 18
ジョブの削除, 58
ジョブの実行
基本的な手順, 44
追加手順, 62
ジョブの名前変更, 18
ジョブのパージ, 59
ジョブの読み込み, 36, 59
[ジョブ ファインダ], 9
ジョブまたはプリ-ジョブの作成, 17
[ジョブ マネージャ]
[色版] 表示, 9, 49, 50
説明, 9
履歴表示, 9, 56
[ジョブ マネージャ] の [履歴] 表示, 56
ジョブ履歴、チェック, 56
処理
スポット カラー , 26, 64
地域バージョン, 74
フォント, 24
リファイン時のフラット, 27
新聞, 2

す

スクリーン角度、スポット カラー , 71
スケール, 30
ステータス、ジョブの監視, 53
スポット カラー
出力, 65
処理, 64
単独色版に出力する, 68
定義, 71
プロセスへの変換, 26, 66
マッピング, 26
スポット カラーのマッピング, 26, 64

せ

製品群、説明, 2
セキュリティ , 19
設定
プロセス プラン, 19
ホット フォルダ, 40
ワークフロー , 14
ワークフロー プラン, 19

そ

ソフト プルーフ, 49

ち

地域バージョン, 74
チェック、プロセス情報, 55

つ

追加
画像検索パス, 39
ジョブ データ, 46
フォント検索パス, 39
ツールバー , 38

て

低解像度の画像、代用, 39
データベース
Prinergy, 6
カラー , 71
デジタル キー プリセット, 34

に

入力ファイル形式, 3
[入力ファイルをフラットとして処理] オプション, 27

の

ノーマライズ
概要, 24
フォント, 75

は

パージ プロセス プラン, 36
バージョン、地域, 74
ハードウェア、Prinergy Direct システム, 5
ハード プルーフ, 50
破棄
ジョブ, 58
ジョブの面付け, 58
版、作成, 50

ひ

表示項目, 16

ふ

ファイル形式
PDF への変換, 23
使用できる, 3
ジョブ データ, 3
ファイルの管理
概要, 58
グループの破棄, 58
ジョブの破棄, 58
面付けの破棄, 58
フィルム、作成, 50
フォント
検索パス, 39
コンバータ, 75
処理, 24, 75
部分インポート, 47
[プライマリ ホスト] ボックス, 10

フラット、リファイン, 27
プリ-ジョブ
グループ, 17
グループの破棄, 58
作成, 17
ジョブ データのインポート, 47
ジョブ データの追加, 46
説明, 8
選択, 17
破棄, 58
開く, 18
ホット フォルダ, 40
プルーフ
カラー マッチング, 29
拒否, 50
作成, 49
承認, 50
タイプ, 49
ハード, 50
パラメータの設定, 28
モデル, 50
プルーフ デバイス プロセス プラン設定, 31, 33
プルーフの拒否, 50
プルーフの作成, 49
プルーフの承認, 50
プロセス カラー、スポット カラーの変換, 26, 66
プロセス情報のチェック, 55
プロセスの表示
JTP 別, 57
プロセス タイプ, 57
プロセス プラン
アーカイブ, 35
インポート, 22
グループ, 8, 20
最終出力, 34, 50
取得, 36
設定, 19
説明, 8, 19
タイプ, 19, 22
パージ, 36
ホット フォルダ, 8, 40, 47
面付けプルーフ出力, 28, 49
リファイン, 23
[プロセス プラン エディタ], 9, 20
プロセス、優先順位を設定, 57
分版入力ファイル, 3

へ

ページ, 27
ページ準備ステーション, 2
変換
RGB 画像, 26
スポット カラー , 26
スポット カラーをプロセスに, 66
フォント, 75

ほ

ホスト、プライマリ, 10
ホット フォルダ
およびプロセス プラン, 40
管理, 40
ジョブ, 48
ジョブ データの送信, 46
処理, 47
説明, 8
プリ-ジョブ, 47
ホット フォルダの管理, 40

め

メディア配置, 30
メディア マネージャ , 60
面付け済みプルーフ
Virtual Proofing System, 28
タイプ, 49
面付けプルーフ出力
カラー コンバート, 29
キャリブレーション, 32
コピードット, 29
スクリーニング, 32
デバイス, 33
プロセス プラン, 28, 50
レイアウト, 30
レンダー , 31
面付けプルーフ出力のスクリーニング , 32
面付けプルーフ プロセス プラン
[カラー コンバート] セクション, 29
[キャリブレーションとスクリーニング] セクション, 32
[コピードット] セクション, 29
[デバイス] セクション, 33
[レイアウト] セクション, 30
[レンダー] セクション, 31
面付けプルーフ プロセス プランの [キャリブレーションとスクリーニング] セクション, 32
面付けプルーフ プロセス プランの [コピードット] セクション, 29
面付けプルーフ プロセス プランの [デバイス] セクション, 33
面付けプルーフ プロセス プランの [レイアウト] セクション, 30

も

モデル, 50

ゆ

ユーザー ツールバー , 38
ユーザー定義カラー , 73
ユーザーの権利, 8, 19

よ

抑制
出力, 69
スポット カラー , 26

ら

ラスタ DCS 2 出力ファイル, 4
ラスタ EPS 出力ファイル, 4

り

リファイン
説明, 48
フラット, 27
リファイン時にオプティマイズ, 27
リファイン プロセス プラン
RGB 画像変換, 26
オプティマイズ, 27
[オプティマイズ] セクション, 27
概要, 23
[カラー コンバート] セクション, 26
[コピードット] セクション, 25
スポット カラーのマッピング, 66
[ノーマライズ] セクション, 24
面付け, 27
[面付け] セクション, 27
リモート版, 22, 47
履歴、システム, 56

れ

レポート、インク, 34
[レンダー] セクション、面付けプルーフ出力プロセス プラン, 31

わ

ワークフロー
アーカイブ, 35, 59
オプション, 47
カラーの処理, 64
グループの作成, 17
自動化, 8, 47
ジョブおよびプリ-ジョブの作成, 17
ジョブ データのリファイン, 48
ジョブの監視, 51
ジョブの実行, 44
ジョブのパージ, 59
ジョブの読み込み, 59
設定, 14
追加手順, 62
ツールバーの設定, 38
版とフィルムの作成, 34, 50
フォント検索パスの追加, 39
プルーフの作成, 28, 49
プルーフの承認, 50
プロセス プランの作成, 20, 22
プロセス プランの設定, 19
ホット フォルダの管理, 40
ワークフロー プラン
設定, 19
説明, 8
ホット フォルダ, 8, 40, 47

www.creo.com | creo™